

第七十九回帝國議會 衆議院 日本銀行法案外二件委員會會議錄(速記)第三回

付託議案 日本銀行法案(政府提出)(第一七號) 戰時金融庫法案(政府提出)(第一八號) 臨時資金調整法中改正法律案(政府提出)(第一九號)

會議

昭和十七年一月二十六日(月曜日)午前十時 二十五分開議 出席委員左ノ如シ

- 委員長 板谷 順助君
理事飯村 五郎君 理事田村 秀吉君
理事中田 儀直君 理事長井 源君
理事坂東幸太郎君 理事龜井貫一郎君
理事本田 英作君
井阪 豐光君 大口 喜六君
太田 理一君 菊池 良一君
木暮武太夫君 鈴木 英雄君
武田德三郎君 豐田 豐吉君
豐田 收君 內藤 正剛君
中島彌團次君 仲井間宗一君
南雲 正朔君 西村金三郎君
廣川 弘禪君 堀内 良平君
松方幸次郎君 山本 条吉君
矢野庄太郎君 石坂 豐一君
世耕 弘一君 河合 義一君
三輪 壽壯君 栗山 博君
田中 耕君

大藏書記官 伊原 隆君
預金部長官 相田 岩夫君
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
日本銀行法案(政府提出)
戰時金融庫法案(政府提出)
臨時資金調整法中改正法律案(政府提出)
○板谷委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、此ノ際資料ノ御要求ノ方ハ申出ヲ願ヒマス
○本田(英)委員 是ハ簡單ナコトデスガ、外國爲替管理法ニ基イテ昭和十三年以降個人若シクハ會社ノ申請ニ基イテ、大藏大臣ガ外國ニ現金輸出ヲ許可シタモノニ付テ、各年度別並ニ各國各地別ニ其ノ金額ヲ一ツ表示シテ載キタイノデアリマス
○板谷委員長 外ニ御要求ハアリマセヌカ、此ノ際御諮リヲ致シマス、三輪君ハ理事ヲ辭任サレマシタノデ、理事ノ補選選舉ヲ行ハネバナリマセヌガ、先例ニ依リマシテ委員長ヨリ指名スルコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○板谷委員長 御異議ナシト認メマス、ソレデハ龜井貫一郎君ニ御願ヒ致シマス、是ヨリ質疑ニ入りマセヌガ此ノ際諸君ニ御諒解ヲ得テ置キタイト思フノデアリマス、御承知ノ通り本案ニ對シテハ出來得ルルガテ審議ヲ盡シタイト云フコトハ昨日申上ゲタ通りデアリマスガ、委員ノ數モ多イコトデアリマスノデ、成ベク質問ハ簡潔明瞭ニ重複ニ互ラザルヤウニ、質問ナサル方ハ成ベク議席ヲ保ツテ戴キタイ、之ヲ豫メ御願ヒ申上ゲテ置キマス、是ヨリ通告順ニ依ツテ質問ヲ御許シ致シマス——田村秀吉君
○田村委員 私ハ二、三日本銀行法案ト戰時金融庫法案ニ付テ質シタイ點ヲ有シテ居ルノデアリマスガ、極メテ大要ニ付テ大藏大臣ノ考ヘ方、御方針ヲ承ツテ、改正案ガ成立スルトスレバ其ノ運用ニ付テノ方法ヲ此ノ際言明シテ戴キタイト云フ點デアリマスノデ、私ノ質問ハ大臣ガ御出席ノ時ニ致シタイト思フノデアリマス、最初ニ大臣ガ出ラレヌデハ、コチラハ極力促進致シタイト云フ考ヘデアツテモ、根本ガ正サレナケレバ審議ヲ進メニクイト思フノデアリマスカラ、委員長ニ於カレテ、極力時間ノ御都合ヲ願ツテ大臣ノ御出席ニナルヤウニ御取計ラヒ願ヒタイ、私ハソレマデ、私ノ質問ハ保留致シテ置キタイト思フノデアリマス、預金部長官ハオ見エデセウカ

○板谷委員長 マダオ見エニナリマセヌガ、田村君ニ申上ゲマスガ、實ハ大臣ノ出席ヲ要求シタノデアリマス、御説ノ如ク初マリハ大臣ガ出テ、能ク質疑應答スルコトガ審議ヲ滑ラカニスル上ニ於テ適當デアルト考ヘタノデアリマスガ、午前中ハ豫算總會ノ軍事豫算ノ爲ニドウシテモ出ルコトガ出來ナイト云フコトデアリマス、恐ラクハ午後ニハ何トカ御差線ガ出來ルト考ヘルノデアリマス、左様御承知置キテ願ヒタイ、只今銀行局長、會社部長ガオイデニナツテ居リマスカラ、此ノ方ニ對スル何カ御質問ガアツタラ御質問ヲ願ヒマス
○栗山委員 私ハ議事進行ニ付テ一言致シマス、私共實ハ多年議會ノ經驗ヲ持ツテ居リマス、委員ガヨク大臣ニ質問ヲ要求サレマスガ、御尤モノコトデアアル、併シ中々斯ウ云フヤウナ非常時議會ニ當ツテハ大臣モ御多忙デアアルコト察スルニ餘リアルノデアリマス、要スルニ委員會ガ委員會ノ權威ニ於キマシテ政府當局ニ質問スルニ當ツテハ、所謂政府ニ質問スルノデアリマス、御答辯モ隨テ政府ノ權威トシテ行ハルルコトト私ハ信ジマスカラ、ドウカ時間ヲ利用シテ、此ノ非常時議會ニ即應スルヤウナ眞剣ナ、時間ヲ極度ニ利用スル審議ヲ進メラレルコトヲ私ハ切望致シマス
○板谷委員長 承知致シマシタ、出來ルルガ御期待ニ副フヤウニ計ラヒマス
○田村委員 預金部長官ニ一點ダケ承ツテ置キタイト思フノデアリマスガ、ソレハ戰時金融庫法案ニ依ツテ、日本協同證券株式會社ガ金融庫ノ方ニ統合セラレルト云フコトニナリマスガ、此ノ統合スルニ付テノ協同證券ノ善後處置ヲドウスルカト云フコトガ問題ダト思フノデアリマス、其ノ前提トシテ協同證券ノ資本金五千萬圓、此ノ協同證券ガ有價證券ノ市價ノ安定ノ爲ニ相當最近活動シテ居ツタコトハ私共之ヲ認メルノデアリマスガ、大東亞戰爭勃發前ニ、其ノ低落ヲ抑ヘル爲ニ預金部カラ相當金額ガ

融資セラレテ、最近ハ株價ガ上ツテ行クト云フノデ、之ヲ賣リニ出テ、相當利益ヲ協同證券ガ收メテ居ルト思ヒマスガ、其ノ預金部資金ノ程度ニ協同證券ニ融資シテ居ラレマスカ、其ノ金額、ソレカラ最近ノ賣リニ出テ爲ニ、協同證券ガ得テ居リマス利益金ノ大體ノ見込額ガ御分リデシタラ御發表願ヒタイト思ヒマス

○相田政府委員 日本協同證券ノ株價維持ノ資金ニ付キマシテハ、株金ノ拂込ミニ依ルモノノ外ハ、總テ興銀ニ對スル融資命令ニ依リマシテ之ヲ融通シテ居リマスノデ、預金部カラハ同會社ニ對シマシテハ全然資金ヲ供給致シテ居リマセヌ

○田村委員 其ノ融資命令ニ依ツテ興銀カラ融通シテ居リマス金額ハ分リマスカ
○相田政府委員 現在マデニ出シテ居リマスモノハ、三千數百萬圓ニ過ギナイ状態デアリマス

○田村委員 最近世間ニハ、協同證券ハ安イ時ニ相當買ツテ、其ノ後大東亞戰爭勃發後非常ニ賣リニ出テ、隨テ其ノ利鞘ガ相當ニアルト云フコトガ傳ハツテ居リマス、隨テ此ノ協同證券ヲ戰時金融庫ガ統合スル場合ニ、假ニ利鞘ガ相當アツタトスルナラバ、此ノ處置ヲドウスルカト云フコトガ世間ノ注目スル所デアルト思フノデスガ、融資命令デ三千五百萬圓融通シテ居ラレル、其ノ後ノ市價安定ノ行動ニ依ツテドノ程度ノ利益ヲ收メテ居ルカ、是ハ計算ダケノ問題デアリカスト思フノデスガ、大體ノ見込額ガ御分リデシタラ御願ヒ致シマス

○田中政府委員 協同證券ガ最近株價ガ上リマシタニ付キマシテ、相當利益ヲ擧ゲテ居ル、下ノ位利益ヲ擧ゲテ居ルカト云フ御

質問ダト承知致シマスガ、大東亞戰爭勃發以來或ル程度ノ利益ガ擧ツテ居ルカト考ヘマス、併シ此ノ金額ハマダ分リマセヌシ、或程度ノ利益ヲ擧ゲテ居ルトハ豫想サレマスガ、締切ヲヤツテ居リマセヌシ、又其ノ金額ヲ正確ニ申上ゲルコトハ困難ナ事情ニアリマスノデ申上ゲ兼ネマス、ソレカラ相當利益ガアツタト假定致シマシテ、戰時金融庫ニ統合セラルル際其ノ處置ヲドウスルカト云フ問題デアリマスガ、是ハ利益金ノ中カラ株主其ノ他ニ、或ル程度ノ相當額ノ配當ト云フ問題ハアルカト思ヒマスガ、殘ツタ金ハ全部戰時金融庫ニ引繼グ、斯ウ云フ考ヘデアリマス

○田村委員 今ノ御説明ニ依ルト、或ル程度ハ株主ニ對シテ配當スル、其ノ程度ハ問題デスガ、殘ツタモノハ金融庫ニ其ノ儘之ヲ受繼グト云フコトデスガ、私ハ金融庫ニ受繼グノハ宜イト思フノデス、ト云フノハ是ハ資本金ガ五千萬圓デアツテ、其ノ資本金ニ依ツテ安定工作ヲ圖ツタ場合ニ、損失ガアツタト云フ場合ニハ協同證券株式會社ノ損ニナツテ居ル、サウ云フ點ガアリマスガ、併シ融資命令ニ依ツテノ三千萬圓ナリ、或ハ多イ場合ニハ何億ト出ルノデスガ、其ノ補填ハ國家ガ保證シテ居ル、ソコデ從來ノ建前ダハ國家ノ危險負擔ニ於テ有價證券ノ安定工作ヲ講ジテ居ル、ソレガ偶、利益ガアツタト云フ場合ニハ、是ハ、其ノ利益ノ全部トハ行カヌデモ、大體ノ大本ハ其ノ利益ガアツタモノハ之ヲ國家ニ納付セシムルト云フコトガ建前ダナケレバナラヌト思フノデスガ、サウ云フ意味デ金融庫ニ引繼ガレルノデアリマスガ、ソレカラ相當額ノト云フノデスガ、其ノ相當額ノ基準、

株主ニ配當セラレレル今ノ御言葉ノ中ニアリマス方針ガオアリデゴザイマシタラ御伺ヒシタイ

○田中政府委員 御尤モデゴザイマシテ、協同證券ガ偶、或ル程度ノ利益ヲ擧ゲタト致シマシテモ、其ノ背景トシテ國家ガ總テテ「バック」致シマシテ、サウ云フ利益ヲ現在擧ゲテ居ル譯デアリマスカラ、普通ノ商法上カラ言ヘバ、利益ハ全部株主ニ歸屬致スベキ筋ノモノデアリマスガ、サウ云ツタヤウナ國家ノ政策ニ依ツテ國家ノ總テノ支援ヲ受ケテ今日ノ狀況ニナツテ居ルモノデアリマスカラ、大體ノ方針トシテソレヲ戰時金融庫ニ引繼グコトガ當然デアルト思フノデアリマス、併シナガラ又一面ニ於テ株主ハ相當ノ資本ヲ出シテ居リマス、又設立以來一回モ利益ノ分配ニモ預ツテ居ラナイノデアリマスカラ、其ノ出資致シマシタ金額ニ對スル利子程度ノモノヲ此ノ際配當スルコトハ如何デアラウカ、斯様ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○田村委員 大體テ承致シマシタ、アトハ大臣ガ御出席ノ際マデ保留致シマス
○板谷委員長 武田徳三郎君
○武田委員 質疑ニ入ルニ先ダツテ參考資料ヲ此ノ機會ニ御願ヒシテ置キタイト思ヒマス、昭和十二年末カラ十六年末ニ至ル各年末ノ保證準備ノ中、國債ヲ準備シテアル其ノ數額ヲ承知シタイノデアリマス、其ノ次ニハ昭和十三年ヨリ十六年ニ至ル間各年各月ノ國庫支拂超過額トソレニ應ジタ國民貯蓄増加額ノ比較ヲシタモノヲ一ツ御示シテ願ヒタイト思ヒマス、其ノ次ニハ最近ノ日本銀行ノ考課狀ノ寫シ、全部ガ困難デアリマシタラ其ノ要點ダケデ結構デアリマ

ス、ソレカラ其ノ次ニモウ一ツ御願ヒシタイコトハ、昭和十二年カラ十六年ニ至ルマデノ間ノ各年ノ産業別ノ産業資金ノ供給高ノ調ヲ御願ヒシタイト思ヒマス、以上デアリマス

私ノ政府ニ御伺ヒ申シタイコトハ、主トシテ大藏大臣ニ伺ヒタイコトガ多イノデアリマスルケレドモ、事務的ニ互ル問題ダケヲ政府委員カラ伺ツテ置キタイト思ヒマス、此ノ度ノ日本銀行法ノ制定ニ取ツテ一番重大ナ點ハ、管理通貨制度ヲ採用セラレタル點デアルト思ヒマス、其ノ管理通貨制度ノ決定ニ對シテ、是ハ政策上ノ問題モアリ、又學理上ノ問題モ伴フ問題デアリマシテ、之ニ付テハ詳細ニ大藏大臣ノ意見ヲ伺ヒタイト思フテ居ルノデアリマスガ、唯此ノ管理通貨ノ運用ニ伴ツテ事務的ニ最モ重大ナル問題ハ、其ノ通貨ノ數量ヲ如何ニシテ調整スルカト云フ技術上ノ問題ダト思フノデアリマス、殊ニ戰時ノ如キ異例ノ場合ニ於テハ、極メテ是ハ困難デナイカト思ハレルノデアリマス、現ニ政府ハ昨年事實上ノ通貨管理ヲ御實行ニナツタ場合ニ、其ノ發行額ノ數量ハ政府ガ定メルト云フコトデ、隨カ四十八億圓ト御決定ニナツタト思フノデアリマス、然ルニ昨年ノ十二月ハ六十餘億モ通貨ガ發行サレテ、ソレガ總テ限外發行トナツテ居ル、其ノ結果其ノ限外發行ニ付テハ政府ニ稅ヲ納メナケレバナラス、限外發行ニ對シテ政府ニ稅ヲ納メルト云フコトハ、言葉ヲ換ヘテ申セバ、資金ノ「コスト」ガ高クナルト云フコトデアアルノデアリマス、戰時財政トシテ最モ重要ナル點ハ、低金利デナケレバナラヌ場合ニ於テ、此ノ發券ノ作用ニ依ツテ、詰リ大藏大臣ガ適當ト認メラレ

○田中政府委員 御尤モデゴザイマシテ、協同證券ガ偶、或ル程度ノ利益ヲ擧ゲタト致シマシテモ、其ノ背景トシテ國家ガ總テテ「バック」致シマシテ、サウ云フ利益ヲ現在擧ゲテ居ル譯デアリマスカラ、普通ノ商法上カラ言ヘバ、利益ハ全部株主ニ歸屬致スベキ筋ノモノデアリマスガ、サウ云ツタヤウナ國家ノ政策ニ依ツテ國家ノ總テノ支援ヲ受ケテ今日ノ狀況ニナツテ居ルモノデアリマスカラ、大體ノ方針トシテソレヲ戰時金融庫ニ引繼グコトガ當然デアルト思フノデアリマス、併シナガラ又一面ニ於テ株主ハ相當ノ資本ヲ出シテ居リマス、又設立以來一回モ利益ノ分配ニモ預ツテ居ラナイノデアリマスカラ、其ノ出資致シマシタ金額ニ對スル利子程度ノモノヲ此ノ際配當スルコトハ如何デアラウカ、斯様ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○田村委員 大體テ承致シマシタ、アトハ大臣ガ御出席ノ際マデ保留致シマス
○板谷委員長 武田徳三郎君
○武田委員 質疑ニ入ルニ先ダツテ參考資料ヲ此ノ機會ニ御願ヒシテ置キタイト思ヒマス、昭和十二年末カラ十六年末ニ至ル各年末ノ保證準備ノ中、國債ヲ準備シテアル其ノ數額ヲ承知シタイノデアリマス、其ノ次ニハ昭和十三年ヨリ十六年ニ至ル間各年各月ノ國庫支拂超過額トソレニ應ジタ國民貯蓄増加額ノ比較ヲシタモノヲ一ツ御示シテ願ヒタイト思ヒマス、其ノ次ニハ最近ノ日本銀行ノ考課狀ノ寫シ、全部ガ困難デアリマシタラ其ノ要點ダケデ結構デアリマ

○田中政府委員 御尤モデゴザイマシテ、協同證券ガ偶、或ル程度ノ利益ヲ擧ゲタト致シマシテモ、其ノ背景トシテ國家ガ總テテ「バック」致シマシテ、サウ云フ利益ヲ現在擧ゲテ居ル譯デアリマスカラ、普通ノ商法上カラ言ヘバ、利益ハ全部株主ニ歸屬致スベキ筋ノモノデアリマスガ、サウ云ツタヤウナ國家ノ政策ニ依ツテ國家ノ總テノ支援ヲ受ケテ今日ノ狀況ニナツテ居ルモノデアリマスカラ、大體ノ方針トシテソレヲ戰時金融庫ニ引繼グコトガ當然デアルト思フノデアリマス、併シナガラ又一面ニ於テ株主ハ相當ノ資本ヲ出シテ居リマス、又設立以來一回モ利益ノ分配ニモ預ツテ居ラナイノデアリマスカラ、其ノ出資致シマシタ金額ニ對スル利子程度ノモノヲ此ノ際配當スルコトハ如何デアラウカ、斯様ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

タコトハ、實際カラ見レバ大藏大臣ガ四十
八億ト決定ニナツタト云フコトハ、實情ニ
即サナカウタト云フコトヲ表明スルモノデ
アリマス、即チ此ノ發券業務ニ對シテノ行
政手段ノ過チト申スト語弊ガアリマスガ、
其ノヤリ方如何ニ依ツテハ低金利ト矛盾シ
タ結果ヲ生ズルト云フコトハ極メテ重大ナ
コトデアアルノデアリマスガ、政府ノ今マデ
ヤラレタル所ニ依リマスルト、其ノ決定ノ
方法ハ、財政ノ模様トカ、物價ノ事情等ニ
依ツテ是ガ決定スルノダト云フコトヲ昨年
ノ春ノ議會ニ言ハレタヤウニ思フノデアリ
マス、甚ダソレハ漠トシタコトデアツテ、
其ノ結果現ニ昨年ノ暮ミタヤウナコトガ將
來ニ於テモ往々ニシテ起ルノデヤナイカ、
ドウ云フ工合ニソレヲ決定ナサルカト云フ
コト、ドウシタラ財界ノ實情ニ最モ適應ス
ルカト云フコトハ、極メテ是ハ困難ナ技術
ダト私ハ思フノデアリマス、元來ソレニ正
確ナ客觀的標準ガアリマスルナラバ、是ハ
洵ニ結構ダガ、唯腰ダメのニヤリマスルト
云フト、通貨ノ數量ヲ先ニ大藏大臣ガ定メ
ルト云フコトハ、通貨ノ供給ヲ先ニ定メテ
掛ルコトデアリマスルカラ、是ハ逆ノコト
デハナイカ、通貨ノ流通ノ方ガ先ニ定マツ
テ、ソレニ應ジテ通貨ヲ發行スルト云フノ
ガ順序デアアルノニ、先ニ供給ヲ定メテ掛ル
ト云フコトハ、私ハ金融疏通ノ途ヲ逆ニ行
クコトニナリハシナイカト云フ風ニモ實ハ
考ヘラレルノデアリマス、之ニ向ツテ大藏
省デ今日マデ御取扱ヒニナツタ方法、竝ニ
將來ニ向ツテ財界ノ要求ト發券ノ數量トヲ
適當ニ「マッチ」セシムル方法ニ付テノ御考
ヘ方ヲ一ツ承リタイノデアリマス

ガ如ク、現在ノ金融經濟情勢ノ下ニ於キマシ
テ通貨ノ調節ヲ圖ル、又最モ經濟界ニ適應
シタ通貨量ノ放出ヲ行フト云フコトハ、實
ニ現在ノ經濟問題ノ中心トナルベキ重要ナ
ル問題ト考ヘテ居リマス、昨年ノ春ノ議會
ニ於キマシテ、臨時立法ト致シマシテ、政
府ニ於キマシテハ、從來ノ金本位制度カラ
離脱致シマシテ、一種ノ所謂管理通貨制度
ヲ採用致シテ、此ノ一年間ソレニ依リマシ
テ運行致シタノデアリマス、其ノ際ニ於テ
然ラバ通貨調節ノ目安ヲ何處ニ置イタカ、
又如何ナル方法ニ依ツテ通貨ノ調節ヲ圖ツ
タカト云フ點ニ付キマシテハ、私共ノ考
ヘテ居リマスル所デハ、通貨ノ調節ト云フ
コトガ只今申上ゲマシタルガ如ク、實
ニ現在ノ金融經濟ノ中心的問題デア
ルト云フコトノ反面ト致シマシテ、中々是ハ
日本銀行ダケノ機能ニ依ツテ適當ノ調節ガ
出來ルモノトハ實ハ考ヘテ居ナイノデアリ
マス、申スマデモナク今日貯蓄ノ獎勵、
其ノ他、更ニ進シテハ其ノ貯蓄ノ獎勵、資
金ノ蓄積ヲ促スガ爲メ國民ノ生活方式ニ對
スル各種ノ問題トカ、ソレ等廣ク各般ノ問
題ガ綜合サレテ、ソレ等ノ綜合サレタ力ニ
依ルニアラズンバ、通貨ノ調節ト云フコト
ガ現實ニハ行ハレナイ情勢デアアル、左様ナ
風ニ理解シテ居ルノデゴザイマス、隨ヒマ
シテ昨年新シイ立法ニ依リマシテ、大體昭
和十六年中ノ目安ト致シマシテ、四十七億
圓ト最高限度ヲ決定致シタノデアリマスル
ガ、其ノ四十七億圓ヲ一應ノ目標ト致シマ
シテ、通貨ヲ調節スルニ當リマシテハ、只
今申上ゲマシタル如ク實ニ百般ノ施策ヲ此
ノ點ニ集中致シマシテ、専ラ適當ニ通貨ヲ
供給スルコトニ努メテ參ツタノデゴザイマ

ス、御話ノ如ク昨年ノ暮ニ於キマシテハ、
六十億餘ノ兌換券ノ發行ヲ見ルニ至ツタノ
デアリマスケレドモ、當時四十七億圓ト定
メマシタ根據ハ、實ハ大體年末ニ於キマシ
テ制限外發行ヲ見ルコトハ已ムヲ得ナイ、
年末ノ取引資金ノ需要ガ旺盛ナル爲メノ限外
發行ハ已ムヲ得ナイトシテ、ソレマデハ大
體四十七億圓限度デ行キタイ、斯様ナ見地
ニ於テ四十七億圓ト決定致シタノデアリ
マス、其ノ結果昨年ノ十一月末ニ於キマシ
テ多少ノ限外發行ヲ見マシタケレドモ、併
シ大體ニ於テ當初吾々ガ考ヘマシタ四十七
億圓限度ト云フモノガ維持サレテ參ツタヤ
ウニ思フノデアリマス、年末ニ於キマシテ
只今申上ゲマシタル程度ノ金額ガ増發セラレ
マシタコトハ、是ハ或ル程度ハ既ニ豫想致
シテ居ツタ所デゴザイマシテ、其ノ結果ト
シテ四十七億圓ノ限度ハ低キニ過ギタト
カ、或ハ豫定以上ニ通貨ヲ多量ニ放出シ過
ギタトカ、斯様ナ感想ハ實ハ未ダ持ツテ居
ナカツタノデゴザイマス、尙ホ制限外發行
ヲ年末ニ於テ多額ニ致シマシタ結果、ソレ
ガ制限外發行稅トノ關係ニ於テ、一般ノ金
融市場ノ資金「コスト」ヲ高メハシナカツタ
カト云フ御懸念デアリマス、此ノ點ニ付キマ
シテ日本銀行現在ノ運營ハ、申スマデモナク
制限外發行稅ヲ課シマシタカラト申シマシ
テ、格別貸出利率ヲ引上ゲル譯デモゴザイ
マセヌシ、實際上カラ申シマス、制限外發
行稅ニ依ル通貨調節ノ機能ト申シマスルモ
ノハ、ソレ程鋭敏ニハ動イテ居ラヌト思フ
ノデアリマス、隨ヒマシテ今回ノ法律ニ於
キマシテハ、御覽ノ通り制限外發行稅ト云
フ制度ヲ廢メマシタ、直接ソレガ資金「コス
ト」引上ニ影響ヲ持ツトハ實際上思ヒマセ

スケレドモ、尙ホ制限外發行稅制度ノ起リ
マシタ所以ガ、之ニ依ツテ資金ノ放出ヲ調
節シヨウト云フ制度デゴザイマスカラ、左
様ナ制度ハ此ノ際トシテハモウ必要ハナカ
ラウト云フコトデ、實ハ只今御審議ヲ願ツ
テ居リマスル法律案ニ於キマシテハ、制限
外發行稅ノ制度ヲ廢メタノデゴザイマス、
然ラバ今回ノ法律ニ於キマシテモ、又先程
申上ゲマシタ昨年春御決定ヲ願ヒマシタ新
規立法ニ於キマシテモ、所要通貨ノ最高發
行高ヲ大藏大臣ガ決メルト云フノハ、果シ
テ如何ナル根據ニ於テソレヲ決定スルモノ
デアラウカ、是ハ非常ニ困難ナコトデア
ルガ、場合ニ依ツテハ寧ロ他ノ要素ガ發行高
ヲ限定スルノデアツテ、兌換券發行高トシ
テ現ハレルモノハ、寧ロ他ノ各種ノ要求ノ
結果デハナイカト云フヤウナ諸種ノ御尋ネ
ガアツタト思フノデアリマスガ、此ノ點ハ
考ヘ様ニ依リマシテハ正ニ御話ノ通りダト
思フノデアリマス、隨ヒマシテ見様ニ依リ
マシテハ斯様ナ通貨制度ヲ執リマス上ニハ、
法律上最高發行高ト云フモノヲ設ケル必要
ガナイト云フコトモ言ヘルト思フノデアリ
マス、併シ尙ホ現在ノ狀況カラ申シマス、
一應目安ヲ設ケテ置クト云フコトハ、ヤハ
リ一種ノ通貨ノ安全感ニ對スル一ツノ指標
ニナラウカト考ヘルノデアリマシテ、其ノ意
味合ヒニ於キマシテ今回ノ新法律案ニ於キ
マシテモ、ヤハリ最高發行高ハ大藏大臣ガ之
ヲ決メルト云フ制度ヲ設ケタノデアリマス、
然ラバ大藏大臣ハ如何ナル根據ニ依ツテ發
行高ヲ決メタルカト申シマスルト、是ハ只今御
話ニナリマシタル如ク、極メテ困難ナ事柄デ
アリマス、或ル客觀的ノ標準ニ依リマシテ是
ガ決メ得ルモノナラバ、事柄ハ至極簡單デ

アリマスガ、併シ實際カラ申シマスルト、只今御話ニナリマシタ如ク、各般ノ要素ヲ考慮ノ上ニ置キマシテ、其ノ上ニ立チマス所ノ客觀ニ依ツテ決メルヨリ外ナイト云フ狀況ニアルノデアリマス、然ラバ如何ナル觀點ニ依ツテソレ等ノ情勢ヲ判斷スルカト云フコトニ付キマシテハ、申ス迄モナク大藏大臣ガ發行高ヲ決定致シマスル際ニハ、先ツ通貨ノ健全性ヲ失ハナイト云フ點ガ重要ナ點デアリマス同時ニ經濟界ガ必要トスル通貨ハ圓滑ニ之ヲ供給スルト云フ點ガ、又同時ニ考慮セラレナケレバナラヌ點デアリマス、此ノ場合各種ノ經濟的ノ指標或ハ生産デアルトカ、配給デアルトカ、物價ノ關係、又國ノ財政ノ關係、其ノ他一般金融情勢等、汎ク一般ノ經濟取引活動ノ狀況ニ十分ノ考慮ヲ拂ヒマシテ、サウシテソレ等ノ諸要素ヲ綜合致シマシタ上ニ於テ、客觀ヲ加ヘネバナラヌ、斯ウ云フコトデアラウト思フノデアリマス、見様ニ依リマシテハ所謂腰ダメ的決定トモ見得ルノデアリマスガ、是ハ事柄ノ性質上洵ニ已ムヲ得ナイコトデハナイカト考ヘテ居ル次第デアリマス、大體從來此ノ制度ヲ運用シテ參リマシタ心組ハ、左様ナ趣旨ニ於テヤツテ參ツタヤウナ次第デアリマス

ノハ、國權ノ作用ノ最モ重大ナル問題デアリマスカラ、一國ノ貨幣ハ元來政府ガ責任ヲ以テ流通セシムベキモノデアルト云フコトハ申スマデモナイノデアリマスガ、唯此ノ金融界ノ實情ニ應ジテ伸縮セシムルモノデアアル、銀行券トシテ、ソレニ經濟界ノ事情ト相應ズルベク、何等カノモノヲ基礎トシテ置ク方ガ都合ガ好イ、政府ガ其ノ權力ヲ以テ唯通貨量ヲ決メルト云フコトハ極メテ困難デアアル、經濟界ノ自動作用ヲ利用スルト云フノガ銀行券ヲ發行スル所謂中央發券銀行ヲ作ツタ趣旨デアルトハ、私ハ御異論ハナカラウト思フ、然ルニ今御説明ノ如ク金融市場ノ實情ヲ考慮シ、各般ノ指標ニ依ツテ、政府ノ意見ヲ決メ、又管理通貨ノ信用ノ根本ハ、申スマデモナク政府ニ對スル信用デアリマス、成程保證準備ハ國債其ノ他有價證券ヲ準備シテ設ケルコトニ新法ハナツテ居ルノデアリマスケレドモ、實際問題トシテ見マスルト、只今私ハ參考資料トシテ要求シタノヲマダ載キマセヌカラ分リマセヌガ、私ノ知ツテ居ル限リニ於テハ、現在保證準備ノ大部分ハ國債デアルト承知シテ居リマス、サウ致シマスルト今日ノ現狀ニ見マシテモ、今日ノ銀行券ハ殆ド政府紙幣ト何等異ナル所ハナイヤウニ思ハレル、若シ同一ノモノデアツテ、ソレデ經濟界ニ甚ダシキ支障ヲ生ジナイモノデアリマスルナラバ、其ノ本筋ニ立還ツテ銀行券ト云フヤウナモノヲ銀行ニ發行セシムルト云フコトヨリハ、政府自ラガ政府紙幣ヲ發行シタカラト云ツテ其ノ間ニ何等ノ差ガナイノデハナイカ、斯様ニモ實ハ考ヘラレルノデアリマス、純然タル管理通貨制度ヲ根本的ニ御斷行ニナツテ居リナガラ、依然

トシテ銀行券ト云フ形デ通貨ヲ發行シナケレバナラヌト云フノハ、實際的ニソコニ何か相違ガアルノデアリマセウカ、サウシタ方ガ餘程便宜ダト云フ何カ特殊ナ事情ガアルノデアリマセウカ、實ハ私ハ此ノ點ハ自分デモ一寸ハツキリ分ラカインデアリマスガ、其ノ點ヲ一ツ御伺ヒシタイト思ヒマス

○山際政府委員 只今ノ御尋ネニ對シマシテ一應事務當局ノ考ヘテ居リマスコトヲ申上ゲマス、政府紙幣ト銀行券トノ差異ガ何處ニアルカ、今日ノヤウナ所謂管理通貨ニ徹底セントスル時代ニ於テハ、寧ロ政府紙幣ニ依ルノモ同様デハナカラウカト云フ御尋ネノ御趣旨ト承リマシタ、政府紙幣ト銀行券トノ作用ノ區別、是ハ實際上如何ニ運用サルルカト云フ點ニ關聯致シマシテ、ソコニ理論的區別ヲ立テルコトハ甚ダ難カシイカト考ヘマスケレドモ、一應吾々ガ今回ノ改正案ニ於テモ尙ホ通貨トシテハ銀行券ヲ主體ニ求メマシテ、政府紙幣ノ方法ニ依リマセヌデシタ理由ト致シマシテハ、御尋ネノ前段ニ於テ御話ノゴザイマシタ、一國ノ經濟界ノ必要トスル通貨ノ量ハ緊密ニ各種ノ經濟現象ト關聯セシメネバナラヌト云フ觀點カラ致シマシテ、其ノ意味合カラ申シマスルナラバ、ヤハリ政府トハ別個ノ銀行ニ依ル銀行券ヲ發行セシメルコトノ方ガ、實際上經濟界ノ眞ニ必要トスル需要供給ノ狀況ニ合致シ得ル、斯様ナコトヲ原則的ニ考ヘタノデアリマス、政府紙幣ハ動モスレバ財政上ハ極メテ都合ノ好イ通貨制度ト見ラレルノデアリマスケレドモ、金融經濟ニ重キヲ置キマシテ、ソレニ能ク適合シタ通貨ト云フコトニナリマスルト、ヤハリ其ノ機能ハ中央銀行ヲ設ケ、其ノ銀行ノ發行スル銀行券ニ依ツテ其ノ需要ヲ充スト云フコトノ方ガ實情ニ即應シ得ルト考ヘタノデゴザイマス、現在ノ我が國ノ情勢ニ於キマシテモ、ヤハリ其ノ原則ハ當然當嵌マルト考ヘルノデアリマシテ、主トシテ金融界ノ事情ニ即應シタ通貨ノ伸縮ヲ圖ルト云フ建前ガ、今回ノ法案ニ於キマシテモ政府紙幣ノ方法ヲ採ラズ、銀行券ノ方法ニ依ツテ居ル主タル原因デゴザイマス、然ラバ銀行券發行ノ保證準備トシテ大部分ガ國債ニナツテ居ルト云フコトハ、ソレトドウ云フ關係ヲ持ツデアラウカト云フ御尋ネト存ズルノデアリマスルガ、保證準備物ト致シマシテハ、成程國債ガ多クノ部分ヲ占メテ居リ、其ノ意味合ニ於キマシテ御尋ネノヤウナ論モ起リ得ルカト思フノデアリマスルガ、併シソレ等ノ資金ガ如何ナル方法ニ於テ民間ニ放出サレテ行クカ、其ノ方法、或ハ放出サレタ銀行券ガ如何ニシテ回收サレルカト云フ其ノ徑路ノ方ガ問題トナルベキデアラウト思フノデアリマシテ、準備物ガ何デアルカト云フ點ニ於キマシテハ、是ハ別個ノ觀點、即チ最モ確實ナ市場性ノ多イ物件ガ保證トナラネバナラヌト考ヘルノデゴザイマス、隨ヒマシテ成程國債ハ現在ノ準備物中甚ダ多クノ部分ヲ占メテ居リマスケレドモ、併シナガラ通貨ノ放出ナリ縮小ナリ自體ハ其ノ準備物トハ直接關係ナク、只管金融經濟上ノ必要ヲ觀點ト致シマシテ行ハレテ居ル次第デアリマスカラ、直チニ其ノ兩者ヲ結付ケテ現在ノ兌換券、銀行券ガ實體ニ於テ政府紙幣デアルト云フコトニハ相成ルマイト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○武田委員 只今ノ前段ノ御説明ハ略、私ノ

豫想シタコトデアリマス、即チ政府紙幣トセズシテ、銀行券ノ建前ヲ執ツタノハ比較的金融界ノ實情ニ通ジマシタル中央銀行ノ銀行券トシテヤツタ方ガ、金融界ノ實情ニ適應スルデアラウト云フ見地カラダト云フ御說明デ、是ハ御尤モノコトデアリマス、然ラバ何故ニ今御說明ニナツタ其ノ御趣旨ニ合フヤウナ立法ヲナサラスノデアラウカ、一體金融界ノ實情ニ適スルト云フコトハ、即チ金融界ノ要求ヲ能ク知悉スルト云フコトデアリマセウ、然ルニ發行額ヲ大藏大臣ガ決定シ、日本銀行總裁ガソレニ何等ノ發言權ヲ持タヌト云フコトハ、今ノ御說明ト御趣旨ガ相反スルコトニナリマス、若シ金融界ノ實情ニ成ベク多ク「マツ」セシムルヤウナ方法ニ於テ發行額ヲ決スルノガ目的デアルト云フナラバ、其ノ發行額ヲ日本銀行總裁ニ決定セシメテ、唯監督權上ノ作用トシテ政府ノ認可ヲ受ケルト云フヤウナヤリ方デアラナラバ、只今ノ御說明ハ私ニハ首肯出來マス、併シナガラ今日ハ總テノ金融統制ノ權力ヲ大藏省ニ集中シヨウト云フ建前デ、其ノ結果此ノ立法モ出來テ居ルノデアリマセウ、此ノ新日本銀行法ト云フモノハ政府ノ金融統制ノ代行機關トデモ言フカ、其ノ手足ト云フ位ノ程度ニ今日ハ變ツテ來テ居ルノデアリマス、是ハ今日ノ實情カラバムヲ得ヌデアリマセウ、總裁其ノ他ノ職制ノ上カラ見マシテモ、銀行員總テテラ公務員ト認メルト云フコトカラ見マシテモ、又株式會社ヲ廢メテ特殊法人トシテ營利性ヲ全然此ノ日本銀行カラ取ツタト云フ點カラ見マシテモ、私ハ左様ニ考ヘ得ルノデアリマス、ソレナラバ銀行券ノ發行ニ依ツテ金融界ノ實情「マツ」セシムルト云フコト

ハ何處ニ發見スルコトガ出來マセウカ、私ハ今ノ政府委員ノ御說明ト此ノ立法ノ實際トハ、ドウモソコデ一致シナイヤウニ思フノデアリマスガ、私ノ誤解デアリマセウカ
○山際政府委員 御承知ノ如ク現在ノ我が國ノ經濟界ハ所謂統制セラレタ經濟デアリマシテ、此ノ政策ノ大本ハ申スマデモナク政府ガ之ヲ決定シ、其ノ政策ニ基イテ各種ノ經濟現象ガ運行セラレテ居ル次第デアリマス、發券制度ノ建前ト致シマシテ、其ノ發行高ガドノ程度ニ維持セラレルカト云フコトハ、先程モ御話ノゴザイマシタ如ク、實ニ經濟界ノ中心ノ現象ト相成ラウト考ヘテ居リマス、此ノ意味ニ於キマシテ全體ヲ通ジテ發行高ヲ幾ラニスルカト云フ大本ハ、ヤハリ大藏大臣ニ於テ握ツテ置キマシテ、其ノ示サレタ大本ノ中ニ於テ日本銀行總裁ガ最モ經濟界ノ實情ニ適應シタ通貨ノ放出收縮ヲ圖ルト云フノガ、現在ノ場合ニ於テ最モ望マシイ姿デハナカラウカト云フヤウナ意味合カラ、本法案ヲ立案致シタノデゴザイマス、唯實際ノ發行高ノ決定ニ當リマシテハ、勿論金融界ニ最モ通曉シタ日本銀行ヲシテ十分ニ其ノ意見ヲ具申セシメル、是ハ内部ノ計ヒトシテ當然ヤラナケレバナラスコトト考ヘテ居リマス、尙ホ又一たび大藏大臣ガ決定致シマシタ最高發行高ニ付キマシテモ、經濟界ノ事情ガソレデハ窮屈デアルト云ツタヤウナ場合ニ於キマシテハ、日本銀行總裁ハ其ノ申出ヲ致シマシテ、大藏大臣ノ認可ヲ得テ尙ホ制限外ノ發行ヲナシ得ルト云フ途ハヤハリ殘ス必要ガアルト認メマシテ、本案ニ於キマシテモ其ノ配慮ハ致シテアル次第デゴザイマス
○武田委員 只今ノ御說明ハ先程ノ御說明

ト較ベマシテ私ハ尙ホ議論ノ餘地ガアルカト思ヒマスガ、餘リ議論ニ互ルコトハ好マナイノデアリマスカラ、先ヅ一應其ノ程度ニ止メテ置キマス
次ニモウ一ツ伺ヒタイコトハ、今度ノ新シイ日本銀行法ニ依リマシテ銀行券ヲ發行スル場合ニハ、公債其ノ他ノ有價證券ハ勿論デアリマスガ、尙ホ金銀ヲモ其ノ準備トスルコトヲモ認メラレテ居ルヤウデアリマス、是ハ尤モノコトデアリマセウ、唯從來二百九十「ミリグラム」一圓トスルト云フヤウナ金準備ノ基礎ノ決マツテ居ル場合ニハ、金ナリ銀ナリラドウ評價シテ其ノ準備ニ繰入レルカト云フコトハ議論ノ餘地ハアリマセウガ、今度ハサウ云フコトハナクナツテ、純然タル通貨管理ニナルノデアリマスカラ、其ノ準備ニナルベキ金銀ラドウ云フ工合ニ評價シテ其ノ準備ニ繰入レルノデアリマセウカ、時價ト云フコトニナルノデアリマセウカ、詰リ評價ノ方法ハドウナルノデアリマセウカ

○山際政府委員 金銀ヲ銀行券發行ノ準備ト致シマシタ場合ニ於キマシテ、其ノ價格ヲドウ決メル積リカト云フ御尋ネデアリマスルガ、本法案ニ於キマシテハ、其ノ價格ハ主務大臣ノ認可ニ依ツテ決定スル、斯様ニ規定致シタノデアリマス、ソレハ第三十二條ノ末項ニ其ノ趣旨ノ規定ヲ設ケタノデアリマス、併シ實行上下致シマシテハ只今御話ノ通り二百九十「ミリグラム」一圓ト云フ割合デ致シテ居リマスルガ、本法案ヲ切替ヘマスル場合ノ措置ト致シマシテハ、二百九十「ミリグラム」一圓ノ割合ニ於テ認可致ス考ヘデアリマス、然ラバ其ノ後ノ價格ノ變更ヲドウスルカト云フ問題ニ付キマシテ

ハ、是ハ其ノ時々政府ガ執ラレルノデアリマセウ所ノ金ニ對スル各種ノ政策ニ依リマシテ變更スルコトハアリ得ルカト、斯様ニ考ヘテ居リマス
○武田委員 其ノ點ハ了承致シマシタ、更ニ進ンデ伺ヒマスガ、日本銀行ガ、金融ノ統制ノ中核的機關トシテ働キマスル場合ニ於テハ、國家總動員法ヲ發動ニ依ツテ出來タ金融統制會ノ首腦者トシテ銀行ノ統制ハ勿論出來マスガ、ソレト同時ニ有效ニ金融ノ統制ヲ致シマスルノニハ、ドウシテモ日本銀行トノ取引關係ヲ總テノ銀行ニ持タシメナケレバナラスト思フノデアリマス、併シ現在ノ實情ニ於キマシテハ、全國ノ銀行ノ中日本銀行ト取引ヲシテ居ルモノハ極メテ少數ノ有力銀行ダケデアル、其ノ數ガドレ位アルカ知リマセウガ、此ノ取引銀行ハ、現在ノ銀行數ト比ベルト極メテ少イト思ヒマス、完全ニ此ノ金融統制ヲ行フニハ、ドウシテモ總テノ銀行ヲ日本銀行トノ取引銀行ニスルヤウニシナケレバナラスト云フ風ニ私ハ考ヘマス、併シナガラ實際問題トシテ考ヘテ見マスルト、今日ハ政府ノ御盡力デ大分全國ノ銀行ノ集中統合ガ行ハレマシタケレドモ、尙ホ全國ニ於テ二百以上ノ銀行ガアル、其ノ中ニモ極メテ貧弱ナル銀行ガ今尙ホ存在シテ居ルノデアリマス、是デハ總テノ銀行ヲ日本銀行ト取引銀行ニセシムルト云フコトノ實行上ニ於テモ困難デアリマセウシ、サレバト云ツテ日本銀行トノ取引銀行ニシナケレバ、此ノ金融ニ直接關係ヲ持ツテ居ナイガ爲ニ、統制ガ力強ク行ハレナイト云フ結果ニ陥リハシナイカト思フノデアリマス、ソコニ於テ問題ハ、銀行ノ集中統合ヲ更ニ力強ク、又成ベク急速ニ

更ヲドウスルカト云フ問題ニ付キマシテ

更ヲドウスルカト云フ問題ニ付キマシテ

更ヲドウスルカト云フ問題ニ付キマシテ

更ヲドウスルカト云フ問題ニ付キマシテ

行フ必要ハナイデアラウカ、之ニ向ツテ政
府ガ如何ナル方法、目途ヲ定メラレテ居ル
カ、サウシテ左様ナ整理統合ノ出来タ場合
ニ、總テノ銀行ヲシテ日本銀行ノ取引銀行
ニセシムル御意思ガアルカドウカト云フ點
ヲ御伺ヒ致シマス

○山際政府委員 金融統制ノ完全ヲ期シマ
スルガ爲ニ、一面ニ於テ金融統制會ヲ通ズ
ル所ノ統制ヲ實施スルノミナラズ、他面日
本銀行ト各種ノ金融機關ガ總テ其ノ取引關
係ヲ通ジテ其ノ統制ヲ實施シナケレバナラ
ヌト云フ御話ハ、洵ニ御同感デアリマス、
大體當局ト致シマシテモ、左様ナ考ヘラ
以テ今後ノ金融統制ノ方策ヲ進メタイ考
ヘデアリマス、ソレニ付キマシテ、現在
金融機關ニシテ日本銀行ト取引關係ヲ持
ツテ居ルモノノ數ガ比較的少イデハナイ
カト云フ御尋ネデアリマス、從前御尋ネ
ノ如キ事態ハ確カニ存在致シタノデアリ
マスガ、是ハ客年末對米英戰爭勃發ト同
時ニ、政府ハ非常金融對策ヲ打樹テマシ
テ、如何ナル事態ニ於テモ金融界ニ混亂ヲ
生ゼシメナイト云フ觀點カラ、出來ルダケ
多クノ金融機關ヲシテ既ニ日本銀行ト取引
關係ヲ結バセテ居ルノデアリマス、今日ト
致シマシテハ、モウ殆ド其ノ取引關係ハ行
渡ツテ居ルカノ如ク考ヘテ居ルノデアリマ
スガ、尙ホ此ノ取引關係ヲ強化致シマシテ、
此ノ方法ニ依ル統制ヲ推進メナケレバナラ
ヌト云フコトハ御説ノ通りト考ヘテ居リマ
ス、尙ホソレニ關聯致シマシテ、地方ニ存在
スル幾多ノ小銀行ヲ今後ドウ云フ風ニ持ツ
テ行クカト云フ御尋デアリマスガ、從來是
等ノ銀行ニ付キマシテハ、集中統制ヲ圖ル
方針ヲ進メテ參ツタコトハ御承知ノ通りデ

アリマス、此ノ方針ニ付キマシテハ、尙ホ
當局ト致シマシテハ變更スル必要ヲ認メテ
居リマセヌノデ、今後モ強力ニソレヲ進行
サセタイ考ヘデアリマス、ソレニ付キマシ
テハ、過般ノ總動員審議會ニ於キマシテ金
融機關ノ整理統合ニ關スル總動員勅令ノ御
審議ヲ御願ヒ致シマシテ、是ガ爲メ所要ノ
勅令モ着々立案ヲ進メツツアルノデアリマ
ス、今後ハ必要ナル地方銀行等ノ整理統合
ハ更ニ有效ニ進マレルコトト考ヘテ居リマ
ス、サレバト申シマシテ、一概ニ地方事情
ヲ全然無視シタ統合ヲ行フ考ヘハ勿論ゴザ
イマセヌ、其ノ邊ハ能ク地方經濟ノ事情ニ
適應シタ程度ニ於テ慎重ヲ期シツツ此ノ集
中統制ノ方策ヲ進メタイ、斯様ニ考ヘテ居
ル次第デアリマス

○武田委員 次ニ御伺ヒ申シタイコトハ、
此ノ法案中ニハ明白ニサレテ居リマセヌケ
レドモ、大藏大臣ノ本案提案ノ御説明ニ依
ツテ見マシテモ、又此ノ新法案ノ基礎トナ
ツテ居リマス昨年七月政府ノ發表サレマシ
タ財政金融基本要綱ニ依ツテ見マシテモ、
中央銀行トシテノ日本銀行ハ、從來ハ其ノ
働キガ金融界ニ對シテ消極的デアツタ、自
分ノ方カラ働キ掛ケルト云フコトノ出來ナ
イヤウナ組織デアツタノヲ、ソレデハ金融
統制竝ニ今日ノヤウナ頗ル困難ナ金融情勢
ヲ圓滑ニ調整スルト云フコトハ出來ナイカ
ラ、日本銀行ヲシテ積極的ニ能動的ニ働キ
掛ケサセルヤウニ組織ヲ變ヘナケレバナラ
ヌト云フコトモ謳ツテアルノデアリマス、
其ノ趣旨ニ從ツテ此ノ法案ガ出來タモノト
思ヒマスガ、各條ヲサツト拜見シテ見マス
ニ、然ラバ極積的、能動的ニ金融界ニ中央銀
行ガ働キ掛ケルトハ、具體的ニ言ヘバドウ

云フコトヲシヨウト云フノカ、是ハ或ハ更
ニ施行規則カ何カニソレヲ明白ニサレルノ
カトモ思ヒマスケレドモ、ドウ云フ風ニ金
融界ニ對シ中央銀行ガ特ニ働キ掛ケルカト
云フコトヲ、具體的ニ事例的ニ主ナルモノヲ
擧ゲテ御説明ヲ願ヒタイと思ヒマス

○山際政府委員 財政金融基本法案ニ於テ、
日本銀行ノ機能ヲ今後ハ一層積極的、能動
的ニ發揮セシメルト云フ方針ヲ掲ゲタノデ
アリマスガ、今回ノ立案ニ於テモ、其ノ方
針ニ依ツテソレヲ致シタノデゴザイマス、
然ラバ法條ノ如何ナル部分ニ其ノ趣旨ガ現
ハレテ居ルカト云フ御尋ネデアリマス、
其ノ業務ヲ積極的ニ行フカ消極的ニ行
フカハ、主トシテ運用ノ問題デアラウト思
ヒマスガ、其ノ運用ヲ一層便宜ナラシムル
爲ニ、現行法ニ比ベテ本法案ガ此ノ法條ノ
上ニ於テ考慮シマシタ點モ少クハナイノデ
ゴザイマス、例ヘバ其ノ業務ノ中ニ於テ、
商業手形、銀行引受手形、其ノ他ノ手形又
ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル債券ノ賣買ヲ
行フト云フ規定ヲ第二十條第五號ニ於テ新
シク設ケテゴザイマス、此ノ規定ナドハ積
極的ニ日本銀行ガ市場へ出マシテ、或ハ手
形ノ買入レ賣放チ、或ハ主務大臣ノ認可ヲ
受ケマシタ債券類ノ買入レ賣放チ、之ニ依
ツテ市場ノ資金状態ヲ或ハ引縮メ、或ハ引
緩メルト云フ操作ガ行ヒ得ルカト思フノデ
アリマス、尙ホ其ノ他一層積極的ニ其ノ機
能ヲ發揮サセル爲ニ、今回ノ法案ノ業務ノ
部分ニ於キマシテハ、現行法ニ於テハ掲ゲ
ラレテ居リマセヌシタ各種ノ新ナル業
務ヲ附加ヘタノデアリマス、例ヘバ二十三
條ニ於テ外國爲替ノ賣買ヲナシ得ト規定
シ、二十四條ニ於テ國際金融取引上ノ諸般

ノ權能ヲ認メ、更ニ又第二十五條ニ於テ信
用制度ノ保持育成ト云フ仕事ヲ新シク日本
銀行ニ認メタト云フヤウナ、各般ノ新タナ
ル條項ヲ設ケテ居ルノデアリマス、併シナ
ガラ何分ニモ積極的能動的ニ市場ニ出ル
ト云フ場合ハ、先程申上ゲタ手形ヲ賣買
スルトカ、債券ヲ賣買スルト云フ點ハ、比
較的容易ニ行ヒ得ルノデアリマスガ、例ヘ
バ手形ノ割引ヲ行フコトニ依ツテ市中ニ資
金ヲ放出スルトカ、場合ニ依ツテハ其ノ他
ノ形式ニ依ツテ特定ノ銀行トノ間ニ特殊ノ
資金ヲ放出スルトカ云フヤウナ、相手方ノ
協力ヲ得ルニアラザレバ、日本銀行ノ取引
ヲ通ズル金融統制モ皆ク行カナイト云フ點
ガ考ヘラレマス爲ニ、今回ノ法案ニ於キマ
シテハソレ等ノ條項ヲ並べマシタ最後ニ第
二十八條トシテ「主務大臣ハ日本銀行ノ目
的達成上必要アリト認ムルトキハ銀行其ノ
他ノ金融機關ニ對シ日本銀行ノ業務ニ協力
セシムル爲ニ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得」
斯様ナ特殊ノ規定ヲ設ケタノデアリマス、
即チ此ノ規定ニ依ツテ日本銀行ガ積極的ニ
市場ニ進出スル、或ハ特定ノ金融機關ニ對
シテ積極的ニ、或ル業務ヲ行フト云フ場
合ニ、相手方金融機關ノ同意ヲ取ルコトガ
非常ニ困難デアルト云フヤウナ場合ニ於キ
マシテ、主務大臣ガ其ノ日本銀行ノ業務ヲ
達成セシメル爲ニ必要アリト認定致シマシ
タナラバ、相手方銀行ニ對シテ日本銀行ノ
仕事ニ協力セヨト云フコトヲ申付ケルコト
ガ出來ル趣旨ノ規定ヲ設ケテアルノデアリ
マス、御話ノ點ハ法文ノ上ニ表ハスコトノ
非常ニ困難ナル條項デアリマシテ、運用
ニ屬スル部分ガ多イノデアリマスガ、尙且
ツ只今申上ゲタヤウナ各條項ハ、是等積極

的機能ノ發揮ニ付キマシテ、日本銀行ノ仕事ヲ非常ニ容易ナラシメル點デハナイカト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○武田委員 了承致シマシタ、更ニ伺ヒタイコトハ、最近金融界ニ於テ一番迷惑ナコトデアリ、困難ナコトデアルト言ハレテ居リマスノハ、日支事變以來國庫ノ放出金ガ多クナルニ從ツテ、短期市場ハ非常ニダブ付イテ居ルニモ拘ラズ、長期金融ハ非常ニ逼迫ノ状態ニナツテ居ルデアリマス、是ガ爲ニ工業金融ハ非常ニ困難ナ状態ニ陥ツテ、政府モ此ノ緩和ニ向ツテ凡ユル苦心ヲサレテ居ルデアリマセウシ、何トカ此ノ短期資金ヲ長期資金ニセシメルヤウナコトニ付テ、政府ハ勿論御心配ニナツテ居ルデアラウト思ヒマスガ、運用ノ上ニ於テカカ度ノ上ニ於テカ、何方特殊ノ御考ヘガアルノデアリマセウカ、私ノ考ヘヲ以テスルト、之ニハ色々方法ヲ採ラナケレバナラヌト思フデアリマスガ、一ツノ方法トシテ考ヘ得ルコトハ、日銀ニ對スル普通銀行ノ一般預金ト云フモノハ今日無利子ニナツテ居リマス、ソレハ手形交換ノ決済ニ要スル手段デアリマスカラ、是ハ當然デアリマセウガ、ソレト別種ノ民間預金ニ對シテ、利子附ノ預金制度ヲ設ケテ、短資ヲ日本銀行ニ集中シ、日本銀行ノ信用ヲ以テ之ヲ必要ノ部面ニ對シテ、合法的ノ長期金融ヲスルト云フ途ハ開ケナイコトハナイヤウニ私ハ思フデアリマス、一口ニ申セバ、日本銀行ニ一種ノ「プール」ニナルヤウナ譯デアリマセウ、殊ニ今日日本銀行ガ從來ノ商業金融ヲ拾テルノデハナイケレドモ、ソレニ増シテ工業金融ニ乗出サウト云フ際デアリマスカラ、殊ニ「インフレーション」ヲ阻止スルト云フ

意味ニ於テモ、私ハソレハ唯一ノ途トハ申シマセウガ、短期資金ヲ長期資金ニ振替ヘル一ツノ有力ナ方法デナイカトモ考ヘルノデアリマス、長期市場ガ逼迫シテ短期市場ハ緩漫過ギルト云フ此ノ問題ニ付テハ、大藏省當局トシテハドウシテモ何等カノ適當ナル措置ヲ御採リニナラナケレバナラヌ筈デアラウト思ヒマスガ、之ニ對シテ銀行局長ノ御方針ヲ聽カシテ戴キタイト思ヒマス

○山際政府委員 今日ノ如キ金融情勢ノ下ニ於キマシテ、兎角金融機關ニハ短期ノ資金ハ集マリ勝チデアルケレドモ、長期ノ資金ヲ吸收スルコトハ短期資金ニ於ケルガ如ク容易デナイト云フ事象ハ、當然肯ケル所デアリマス、隨テ一面ニ於テ非常ニ旺盛ニナリツツアル事業資金ニ對スル需要ヲ、如何ニシテ此ノ金融情勢ニ適應セシムルカト云フ所ガ、只今御説ノ如ク現在ノ金融問題ノ中ニ於キマシテ最モ苦心ヲ要シツツアル點デアリマス、之ニ對スル對策ト致シマシテハ、既ニ御承知ノ如ク、機會アル毎ニ短期資金ノ吸收機關ト云ハレテ居ル普通銀行等ニ對シマシテモ、努メテ其ノ資金ヲ事業資金トシテ放出スベキコトヲ御話致シテ居ルデアリマス、此ノコトハ從來ノ短期資金ヲ集積シタルモノハ短期ニ運用スベシト云フ金融上ノ原則カラ見マシレバ、稍、異例ニ互ルコトデアリマシケレドモ、而モ尙ホ今日ノ經濟界ノ情勢ハソレヲ敢テスルコトヲ要求致シテ居ルト思フデアリマス、然ラバ具體的ニ如何ナル方法ニ於テ其ノコトヲ可能ナラシムルカト云フ點ニ付キマシテハ、只今モ御話ノアリマシタ如ク、單純ニ此ノ方法ダケト云フコトデ効果ヲ舉ゲルコトモ申々難カシイデアリマスガ、根本ハ先刻來御

話ノアリマシタ各種ノ金融機關ヲ日本銀行ト緊密ニ連絡セシメマシテ、假令短期ノ資金ヲ事業資金ノ方ニ廻シマシタカラト申シマシテモ、一タビ資金ノ必要ガ起リマシタ場合ニハ、直チニソレヲ日本銀行カラ其ノ金融機關ニ供給スルコトニ依ツテ、其ノ金融機關トシテハ何等差支ヘノナイ運營ヲ續ケ得ルト云フ状態ニ總テノモノヲ構成スルコトガ根本デアラウト思フデアリマス、併シナガラ尙ホソレニ至リマスル過程ト致シマシテモ、過般當局ト致シマシテハ軍需手形等ノ制度ヲ設ケマシテ、比較的短期資金ガ事業金融方面ニ向ヒ得ル途ヲ設ケタコトモアリマスシ、今後モ尙ホソレ等便宜トスル方法ニ付キマシテハ、漸次其ノ途ヲ殖ヤシテ行カナケレバナラヌト考ヘテ居ル次第デアリマス、只今御示シノアリマシタ餘裕金ヲ日本銀行ニ集中スル爲ニ、利附預金ノ制度ヲ設ケテハ如何カト云フ點ニ關シマシテハ、此ノ點モ尙ホ當局トシテ考ヘニ入レテ居ル事柄ノ一ツデゴザイマス、唯其ノ實行ニ付キマシテハ、御承知ノ如ク現在ノ短期資金ノ市場ニ付キマシテハ、ソレ自體ヤハリ一種ノ需要供給ノ調節ガ其ノ市場ニ於テ行ハレテ居リマスル實情ニモアリマシケラ、遽カニ總テノ餘裕金ヲ日本銀行ニ集中スルコトニ依ツテ、所謂短期市場ナルモノガ茲ニ非常ナ資金ノ枯渇ヲ來スト云フ支障ガアリマシテモ、ソレハ經濟ノ運行上面白クナイモノト考ヘマシマシ、今後ノ研究問題トシテ、當局ト致シマシテハ餘裕金ヲ日本銀行ニ集メ、其ノ方法トシテ利附預金ノ制度ヲ開始スルト云フヤウナ點ニ付キマシテ、具體的方法ヲ慎重考究致シテ居リマスル段階デゴザイマス

○武田委員 只今御質問申上ガタ事柄ニ關聯シテ一ツ伺ヒタイデアリマスガ、此ノ點ニ付テハ昨年ノ春ノ議會ニ於キマシテ、豫算委員會デ當時ノ大藏大臣ニ私ハ質問致シタノデアリマシケレドモ、極メテ曖昧ノ間ニソレハ終ツタノデアリマス、今日普通銀行ノ實際ヲ見マシテ、預金ノ増加ニ從ツテ預金準備ノ現金手持ト云フモノハ相當ニアルデアリマス、此ノ預金準備ノ現金ノ手持ヲ多ク持ツト云フコトハ、銀行トシテハ資金ノ「コスト」ヲ高カラシムル所以デアリ、通貨ノ量ヲ殖エルト云フ所以デモアルデアリマス、ソレデ私ハ米國ノ各州デモ現ニ實行シテ居ルト聞イテ居リマスガ、金融機關ノ民間預金ニ對シテ、一般的ニ政府ガ保證スルト云フ制度ヲ執ツテハドウデアルカ、サウスレバ一面ニ於テ多少預金ノ利子ヲ下ゲテモ、或ハ國民ノ貯金ノ吸收ハ樂ニナリハシナイカ、現ニ郵便貯金ノ金利ハ非常ニ安イニモ拘ラズ、郵便貯金ニ國民ノ貯金ガ著シク集中シテ居ルノハ、政府ノ絶大ナル信用ノ賜モノデアアル、ソレノミデアリマセウケレドモ、ソレガ唯一ナル支柱デハナイカトモ考ヘル、サウシテ一面ニ於テハ普通銀行ニ國民ノ貯金ヲ集中スルニ便利ニナリ、一面ニ於テハ銀行ノ準備手許金所有ヲ減ズルコトモ出來ルト云フ一舉兩得ノ策デハナイカト云フ意味デ、實ハ私ハ一兩年來其ノコトヲ考ヘ、先程申上ゲル通り昨年ノ秋ノ議會ニ於テ、私ハ政府ニ所見ヲ聽イタノデアリマシケレドモ、極メテ根據ノナイ否定的ノ答辯ニ接シタノデアリマス、其ノ當時ハ山際サンハ銀行局長ノ御當局デハナカツタヤウデアリマスガ、山際サンハ其ノ點ニ向ツテ如何ニ御考ヘニナルノデアリ

マセウカ、ソレト關聯致シマシテ、今私ガ申上ゲタト同ジヤウナ事柄デアリマスガ、ソレニ致シマシテモ銀行ノ預金準備トシテノ手許金ト云フモノハ勿論多少要リマセウガ、ソレヲ日本銀行ニ集中スルノ手段ヲ御執リニナツテハドウデアルカ、サウ致シマスルト日本銀行ヘノ集中ガ増加ヲスルト共ニ、通貨ノ減少ヲ來スコトニナリハシマイカト思ヒマスガ、其ノ兩點ニ向ツテ局長ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○山際政府委員 一般金融機關ニ對スル預金ノ支拂ニ關シテ、政府ニ於テ其ノ支拂ヲ保證スルコトニ致シタラドウデアラウカト云フ御尋ネデアリマス、御承知ノ如ク昨年末ノ非常金融對策ニ於キマシテハ、政府ハ其ノ信用ニ掛ケテ、如何ナル金融機關ノ預金ヲモ必ズ拂戻ス、預金者ニ迷惑ヲ掛ケルコトハ絕對ニ致サスト云フコトヲ申シタノデアリマス、其ノ意味ニ於キマシテ、現在ハ非常措置ヲデアリマスケレドモ、實體的關係ニ於テハ、一種政府ガ其ノ支拂ヲ保證シテ居ルト同ジヤウナ状態ヲ現出シテ居ルモノト考ヘテ居ルノデアリマス、唯併シ法制的ニ之ヲ政府保證ト云フコトニ致シタ方ガ宜シウゴザイマセウカ、或ハ現在ノ程度ニ於テ、必ズ金融機關ハ破綻セシメナイト云フ方式ニ於テソレヲ確保致シタ方ガ宜シウゴザイマセウカ、細カイ點ニ付キマシテハ、ヤハリ一長一短、一利一害モアルコトノヤウニ思ヒマスノデ、一ツノ問題ト致シマシテ、實ハ從來トモ研究ヲ續ケツツアリ、今後尙ホ一層研究致シタイト考ヘテ居ル點デゴザイマス

ヲ滯留サセル原因トナルノデアルカラ、ソレヲ日本銀行ニ集中ヲシテ、サウシテ通貨ノ收縮ヲ圖リ、又反面ニ於テ國債消化、其ノ他資金ノ活用ヲ圖ツテハドウカト云フ御尋ネト伺ツタノデアリマスガ、此ノ點ハ實ハ計數上ハ現金準備ガ相當殖エテ參ツテ居ルノデアリマスガ、其ノ内容ヲ仔細ニ檢討致シマス、最近ニ於テ國債其ノ他金融機關手持ノ有價證券ノ類ガ非常ニ殖エテ參リマシタ爲ニ、期間ノ到來致シマシタ利札其ノ他小切手ノ類ガ、現金準備トシテ計上サレテ居リマス爲ニ、其ノ内容ニ於テ現金其ノモノハ計數上ニ現ハレマシタ現金準備ノ額程多クハ相成ツテ居ラスノデアリマス、併シナガラ尙ホソレ等ニ付キマシテモ、只今御話ノ集中ノ策ヲ講ズルト云ツタヤウナ方法ハ、尙ホ其ノ必要ガナクハナイト考ヘマス、從來ハドチラカト申シマス、手許ノ資金ガ餘裕ヲ生ジテ參リマス、相成ルベク國債ノ買入レヲ勸奨致シマシテ、成ベク國債ノ保有ニ向ケテ貴フト云フコトニ致シテ參ツタノデアリマス、單ニソレノミナラズ、今後ハソレヲ然ルベキ所ヘ集中致シマシテ、國債又ハ必要ナル事業ノ方面ヘノ資金ノ供給ニ充テルト云ツタ方策ガ是モ考フベキ點デアラウト考ヘテ居リマス、更ニ此ノ點ハ今後ノ問題トシテ研究ヲ續ケタイ所存デゴザイマス

○武田委員 只今伺ヒマシタ前段ノ問題ニ付テハ、大體私ノ希望ト同一ナ御意向ノヤウニ承ツテ満足デゴザイマス、併シナガラ昨年ノ日英米開戰ノ當時ニ大藏省ノ御聲明ニナツタノハ、ソレハ唯臨機應變ノ處置トシテ、大藏省ノ御手心ノ心構ヘヲ世ノ中ニ御示シニナツタダケデ、ソレデハ私ノ申上ゲルヤウナ意味ニ於テノ預金ノ吸收ヲ増加スルト云フコトニハナラヌノデアリカ、ドウシテモ之ヲ法制的ニ御定メニナラナケレバ、其ノコト自體ガイケナイト云フナラバ是ハ別問題デアリマスケレドモ、大體ニ於テ事柄ソレ自體ニハ銀行局長モ私ノ意見ニ御同意デアアルヤウデアリマス、サウ致シマシタナラバ大藏省ノ一片ノ聲明ダケデハ、決シテ效果ハ擧ラヌモノト思ヒマスカラ、ドウシテモ是ハ法制的ニ御定メニナラナケレバナラヌノデアリカト思フノデアリマス、若シ私ノ素人考ヘニ何等カソレニ伴フ弊害ガアルト云フコトナラバ格別トシテ、サウデナイト致シマスナラバ、其ノ方向ニ御進ミ下サルヤウニ御願ヒシタイト思ヒマス

ソレカラ次ニ御伺ヒシタイコトハ、今度發券銀行ガ根本的ニ改組サレマスニ付テハ、朝鮮銀行モ、臺灣銀行モ、新日本銀行モ其ノ發券事業ガ統合サレテ然ルベキヤウニ私ハ考ヘルノデアリマス、最早兩三年來サナキダニ朝鮮、臺灣銀行ノ發券業務ヲ、日本銀行ニ統一シタ方ガ宜イノデアリカト云フ議論モ、民間ニソロソロ起ツテ居ツタノデアリマス、殊ニ今日ハ朝鮮、臺灣ハ、金融的ニ内地ト一層非常ナ緊密ノ状態ニナツテ居リマス、日本ノ重工業ハ大分朝鮮ニ進出ヲ致シテ居リマス、又臺灣ニ於テモ、近來内地ノ重工業ハ非常ニ進んで參ツテ居ル、斯ウ云フ際ニ於テハ最早臺灣銀行、朝鮮銀行ト云フモノハ、獨立ノ發券銀行デナケレバナラスト云フ必要ハナクナツテ居ルト思フノデアリマス、若シ是等ガ別々ナ發券銀行ヲ持タナケレバナラスト云フコトナラバ、北海道ハ北海道特別ノ發券銀行ガ

アツタ方ガ便宜ダト云フコトニナル、或ル特殊ノ業務ニ對シテノ特殊金融ノ目的トスル銀行デアリマスレバ、是ハ地域ハ別トシテ、サウ云フコトハ必要デアアルカモ知レマセヌケレドモ、或ハ業態ハ別トシテ、特殊ノ銀行ハ必要デアアルカモ知レマセヌガ、今日ノ如キ實情ニ於キマシテ、臺灣ト朝鮮ト内地ト、ソレノ別々ナ發券銀行ヲ持タナケレバナラスト云フヤウナ時代ハ、既ニ過去ツタノデアリカト思フノデアリマス、本法案御立案ニ當ツテハ、多分其ノ點ニ付テモ相當御考慮ハアツタモノト考ヘマスルガ、ドウ云フ譯デソレヲ御斷行ニナラナカツタカ、ソコニ何カ特殊ノ事情ガアルノデアリマセウカ、其ノ點ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○山際政府委員 今回日本銀行關係ノ制度ヲ全面的ニ改正致シマスニ當リマシテ、朝鮮銀行及ビ臺灣銀行ガ持ツテ居リマス發券制度ヲ統合シテハドウカト云フ問題ハ、當然ニ考慮ノ中ニ入ツテ來ル問題デアリマス、當局ト致シマシテモ立案ニ當リマシテ、實ハ其ノ點ハ慎重ニ考究ヲ致シタノデアリマス、其ノ結果トシテモ御承知ノ如ク、朝鮮銀行、臺灣銀行ハソレノ發券銀行デアリマス、ガ、同時ニ朝鮮内、臺灣内ニ於テ普通銀行業務ヲ兼營シ、其ノ普通銀行業務遂行ノ爲ニ發券機能ヲ持ツコトガ、朝鮮及ビ臺灣ノ經濟状態カラ申シテ有效デアルト云フ見地カラ、其ノ制度ガ尙ホ今日ニ及ンデ居ルノデアリマス、只今御話ノ如ク臺灣ノ經濟モ、朝鮮ノ經濟モ、漸次内地ノソレト事情ガ非常ニ近似シテ參ツテ居リマスコトハ明カデアルト考ヘマス、隨テ兩銀行ノ發券制度ガ、漸次日本銀行ノ發券制度ニ統一セラルル時期

ガ近付キツツアルト云フコトハ、申上ゲルコトガ出来ルト思フノデアリマス、即チ終局的ノ考ヘ方ト致シマシテハ、將來内地、朝鮮、臺灣間ノ經濟状態ト云フモノガ、何等ソコニ相違ヲ生ジナイ状態ニマデ變ツテ參リマシテ、隨テ銀行券ト致シマシテハ、日銀券ヲ以テ統一スルト云フコトガ最後ノ狙ヒデアラウトモ思フノデアリマス、唯其ノ時機ガ何時デアルカ、現在既ニ其ノ段階ニ達シテ居ルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、尙ホ當局トシマシテハ、未ダ其ノ時機ガ來テ居ナイト云フ考ヘ方カラ、今回ノ改正ニ當リマシテハ自然其ノ點ハ後日ノ問題トシテ殘シテ譯デアリマス

○堀内委員 武田委員ノ御承諾ヲ得マシタカラ、一寸關聯シテ御伺ヒシタイト思ヒマス、先刻來武田委員ヨリ通貨ガ豫想外ニ膨脹シタト云フコト、及ビ預金ノ吸收ニ致シマシテモ、モウ少シ決定的ニヤツタラ宜カラウト云フ御質問ガアツタノデスガ、ソレニ對シテ政府委員ノ御答辯ハ、通貨ハ昨年四十七億位ノ見込デ居ツタノガ、六十二億ニモ達シタ、所ガ預金ノ吸收ニ付テハモウ少シ考ヘル積リダト云フ御話デアリマシタガ、之ニ付テ私ガ政府委員ニ御伺ヒテ見タイコトハ、是ハ一昨年頃カラノ話デアリマスガ、圓札ヲ其ノ儘物品トシテ貯藏シテ居ル者ガアル、例ヘバ信託會社ノ金庫デ、從來ハ骨董品ナドヲ預ツテ居ツタガ、ソレガガラ空ニナツテ居ツタ所ヘ、一昨年頃カラボツボツ百圓紙幣ヲ束ネテ、サウシテサウ云フ金庫ニ預ケテ居ルト云フヤウナ説ガ、段段多ク聞エルヤウニナツテ居ルノデアリマス、ドウ云フ積リデス様ナコトヲスルノカ分リマセヌガ、サウ云フコトガ段々大キク

ナツテ參リマス、通貨モ豫想外ニ殖エルシ、又豫想外ノ發行ヲシナケレバナラナイヤウニナルカモ知レマセヌ、又一方預金ノ吸收ヲ積極的ニヤラウトシテモ、サウ云フコトガアルト非常ニ妨害ニナル、今年度ハ貯金モ一層吸收ニ努メナケレバナラヌシ、又公債ノ消化モ十分勸誘シナケレバナラナイ、サウ云フ際ニ通貨ヲ自分ノ物品トシテ之ヲ死藏スルト云フコトハ、是ハ丁度色々ナ物ノ買溜メデアルトカ、賣惜ミデアルトカ云フコトト同ジコトデアツテ、非常ニ惡イコトデ犯罪デアリマス、隨テ此ノ際ニ於テハ、サウ云フ不心得者ハ嚴罰ニ處スベキデハナカラウカ、一面斯様ナコトヲ緩漫ニシテ置イタノデハ、一方ニ貯金ノ獎勵ヲシ、公債ノ消化ヲ勸誘シテモ、ソレガ爲ニ非常ニ害セラレルノデハナイカ、是ハ吾々ノ耳ニハ一昨年來カラ入ツテ居ルノデスカラ、大藏當局ノ耳ニモ入ツテ居ナイコトハナイト思ヒマス、今日斯ウ云フ信託會社ノ金庫等ニサウ云フモノガ死藏サレテ居ルト云フコトヲ御調査ナスツタコトガアルノデアリマセウカ、若シ御調査ヲシタコトガアルト云フナラバ、其ノ狀況ハドウデアルカ、若シ左様ナ不心得ノ者ガアリトスレバ、國家非常ノ際デアルカラ司法當局トモ御打合せニナツテ、嚴罰ヲ以テ御臨ミニナルベキデハナイカト思ヒマス

○山際政府委員 圓札ヲ退藏スル者ガチヨイチヨイアルト云フ噂、實ハ當局モ耳ニハ致シテ居ルノデアリマス、若シソレガ眞實デアルト致シマスレバ、洵ニ是ハ此ノ際ノ金融政策、通貨政策ノ上カラ申シマシテ困ツタ事象デアルト考ヘマシテ、只今御話ノアリマシタ關係方面等ニ付キマシテ出來得ル

限りハ調査モ致シテ見タノデアリマス、何分ニモ事ガ事デアリマシテ、實體ヲ掴ムコトガ非常ニムツカシイト云フ状態デアツタノデアリマス、政府ト致シマシテハ一々是等ノ者ノ後ヲ追掛ケマスコトモ中々容易ナラザルコトデアリマスノデ、要ハ國民ノ自覺ニ依ツテ左様ナコトノナイヤウニ、努メテ機會アル毎ニ其ノ趣旨ヲ宣傳シ、又ソレニ協力シテ賞ツテ居ル一面ニ於キマシテ、現實ニ、例ヘバ預金ヲ拂戻スト云フコトニ付テ國民ニ何等ノ不安ヲモ生ゼシメナイ、又其ノ便宜ヲ十分計ルト云フコトガ、斯カル圓札ノ退藏ヲ防止スル有力ナル方法ニモナラウカト考ヘマスノデ、先程モ申上ゲマシタ預金拂戻シニ付テ政府ニ於テ十分ナル措置ヲ執ル、又先般ノ非常金融政策ノ中ニ於キマシテ、例ヘバ預金者ガ他ノ地方ニ移動致シマシタヤウナ場合ニ於キマシテモ、或ル一定限度内ノモノハ從來全然取引ノナカツタ餘所ノ銀行ヘ行ツテモ拂戻シガ出來ルト云フヤウナ便法サヘモ講ジテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ於キマシテモ出來ルダケ左様ナ便宜ヲ講ジテ、預金者ガ安心シテ預金スルコトガ出來ルヤウニスルト共ニ、又一面國民ノ自覺ヲ促シテ、左様ナル政府ノ政策ニ悖ルヤウナ行ヒハ止メテ貰ヒタイト云フコトニ極力努メタイト考ヘルノデアリマス、唯斯様ナ者ニ對シマシテ刑罰ヲ以テ臨ムト云フコトガ、果シテ能ク其ノ效果ヲ擧ゲ得ルヤ否ヤト云フ點ニ付キマシテハ、ソコマデ當局ト致シマシテハ考ヘタコトモゴザイマセヌガ、尙ホ却ツテ逆效果ヲ來シ、到底一々ノモノニ付テ政府ガソレニ當ツテ行クト云フコトモ出來ナイ事情デアリマスカラ、出來レバ國民ノ自覺ト云フ

點ヲ基礎トシテ、ソレニ國民ニ對シテ各種ノ便益ヲ提供スルト云フ點ヲ方法ト致シマシテ、斯様ナ現象ガ眞實ニ存在致シマセヌヤウニ今後ハ努力ヲ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○武田委員 日本銀行法ニ關シテモウ一ツダケ事務當局ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、後ハ大藏大臣ガ御出席ニナツテカラ質問ノ機會ヲ與ヘテ戴キタイト思ヒマス、ソレハ昨年ノ九月大藏省ニ於カレマシテ資金ノ計畫方針ト云フモノヲ御發表ニナツテ居リマス、三箇條ノ方針ヲ御發表ニナツテ居ルノデアリマス、其ノ中第三ニ資金需要ノ適合ヲ圖ル爲メ調整準備資金ヲ設ケテ彈力性ヲ保持セシムルト云フ意味ノ聲明ガアリマス、私ハ極メテ適切ナル御考ヘダト思フノデアリマスケレドモ、是ハ觀念的ニハ適切ダト考ヘテ居リマスガ、之ヲ具體的ニハ如何ナル方法、如何ナル施設ヲオヤリニナルト言フノカ、又現ニ御實行ニナツテ居ルノカ、是ハ極メテ必要ノコトデアルガ、唯聲明ノシ放シデハ甚ダ遺憾ダト思ヒマスカラ、是ハ如何ナルコトヲナサントスルノデアルカ、又現ニナシツツアルノデアルカラ御説明願ヒタイノデアリマス

○山際政府委員 只今御尋ネノ點ハ、昭和十六年度ノ資金統制計畫ニ關聯シテ政府ガ發表致シマシタ事柄デアラウト存ジマス、御指摘ノ調整準備金ト申シマスコトハ、全體ノ計畫ト致シマシテハ、一應資金ノ割振りヲ致シマシテ、ソレハ事業資金ハ幾ラ、又財政上公債所要資金トシテ幾ラ、又事業資金ノ中ニ於キマシテモ短期ノ資金幾ラ、長期投資資金ガ幾ラ、株式投資幾ラ、社債ハ幾ラデアルトカ、又對滿投資ハ幾ラデア

午後三時二十八分開議

○板谷委員長 午前ニ引續キ會議ヲ開キマ
ス——世耕弘一君

○世耕委員 私人主トシテ日本銀行ニ關ス
ル問題ニ觸レテ最初ニ御尋ネテ致シタイト
思フノデアリマスガ、先ツ順序ト致シマシテ、
此ノ新日本銀行ノ發行スル銀行券ノ内容及
ビ紙幣ノ様式——三十三條ニ出テ居リマス
ガ、此ノ點ヲ一應御説明ヲ願ヒタイト思フ
ノデアリマス

○山際政府委員 今回ノ法案ノ第三十三條
ニハ「銀行券ノ種類及様式ハ主務大臣之ヲ定
ム」トゴザイマス、此ノ趣旨ハ、從前ノ日本
銀行ノ制度ニ於キマシテハ、銀行券ノ種類
ハ即チ何圓々々ト云フ金額ニ依ル種類ハ、
法律上決メテアツタノデゴザイマス、ソレ
カラ尙ホ様式ハ、主務大臣ガ定メマシテ、
ソレヲ公告スルト云フコトニ相成ツテ居
リマシタ、其ノ事項ヲ踏襲致シマシテ、今
度ノ法律ニ於キマシテハ、種類モ様式モ共
ニ主務大臣ガ之ヲ決メル、斯ウ云フコトニ
改メタノデゴザイマス、種類ヲ從來法律デ
掲ゲテ居リマシタノニ今回ハ主務大臣ガ之
ヲ決メルト申シマシテ、必ズシモ其ノ種類
ヲ法律上限定致シマセズデシテ趣旨ハ、段
段取引ノ狀況ニ應ジマシテ實際ニ適合スル
ヤウナ種類ヲ隨時主務大臣ガ定メ得ル、其
ノ方ガ經濟界ノ實情ニ適應シタ銀行券ガ出
セル、斯様ニ考ヘタカラデアリマス、ソレ
デ今後ニ於ケル様式及ビ種類ヲドウスルカ
ト云フ問題デアリマスルガ、是ハ差當リハ
此ノ法案ノ附則ニモ掲ゲテアリマスルガ、
從來使ツテ居リマシタ銀行券ヲ其ノ儘新シ
イ日本銀行ノ銀行券トシテ襲用シテ參ル積
リデアリマス、是ハ御承知ノ通り銀行券ハ

相當高級ナ印刷デアリマシテ、俄カニ新シ
ク種類ヲ増減スルトカ様式ヲ改メルトカト
云フコトハ容易ナコトデアリマセヌシ、
又今回ノ改正ノ趣旨ガ、骨子ニ於キマシテ
ハ從來ノ日本銀行ガ其ノ儘新シイ日本銀行
ニナルト云フ考ヘ方デアリマスカラ、銀行
券ト致シマシテモ、從來ノモノヲ差當リ其
ノ儘引繼イデ使用スルト云フ考ヘデアリマ
ス、唯今後ニ於ケル印刷ニ付キマシテハ、
今回ノ法案改正ノ結果、當然兌換銀行券ノ
「兌換」ト云フ文字ハ削ルコトニナルト思ヒ
マス、又「金貨何圓相渡可申候」ト云フ從來
ノ券面ニアリマスル條項ハ削除ニナルト思
ヒマスガ、其ノ二點ヲ除キマシテハ、大體
從前ノ引續キ使用スル考ヘデアリマス

○世耕委員 私人考ヘデハ現在ノ日本銀行
ヲ現存セシメテ、寧ロ大東亞銀行ト云フヤ
ウナモノヲ創立シタ方ガ適當デナカツタ
カ、サウ云フヤウナコトガ本法案上ニ
話題ニ上ラナカツタカドウカト云フコトヲ
御尋ネシタイ、次ニ新日本銀行ト、舊日本
銀行トノ權限ノ差異デアリマス、色々此ノ
條文ノ中ニ現ハレテ居リマスガ、尙ホ念ノ
爲メ之ヲ具體的ナル例示ヲ以テ御説明ガ願
ヒタイト思フノデアリマス

○山際政府委員 第一段ノ御尋ネハ本法案
ヲ立案スルニ當リマシテ、大東亞銀行ヲ建設
スルト云フコトヲ考ヘナカツタカト云フ御
尋ネデアリマス、東亞共榮圈ガ今後其ノ金
融上ノ措置ニ付テ申シマスルナラバ、日本ヲ
中心トシ、又日本銀行ヲ中樞機關トシテ運
營セラレテ行カネバナラスト云フコトハ申
スマデモナイノデアリマス、併シナガラ今日
ノ狀態ニ於テ、直チニ大東亞銀行ナルモノ
ヲ設立致シマシテ、之ヲ以テ東亞共榮

圈内ノ各種ノ金融ニ當ラシムルト云フ組
織ガ適當デアルカドウカト云フコトニ
付キマシテハ、是ハ申スマデモナク未ダ各
地域ノ事態ハソコマデ安定ヲ見テ居リマセ
ヌ、今後事態ガ進ムニ從ヒマシテ、漸次
ソレ等ノ問題モ具體的ニ考ヘラレテ參ルコ
トダラウト思ヒマスガ、現在ノ段階ニ於テ
ハ未ダ左様ナ具體的ナ案ヲ立案スベキ時期
ニアラズト云フ考ヘ方カラ致シマシテ、別
ニソレニ關スル手段ヲ設ケナカツタ次第デ
アリマス、尙ホ別途御審議ヲ願ツテ居リマ
スル南方開發金庫等ハ、自然將來ニ於キマ
シテソレ等ノ問題ヲ解決シテ參リマスル一
ツノ足掛リトハナルモノデアラウト考ヘテ
居リマス

第二ノ御尋ネハ今度ノ法案ト、從來ノ日
本銀行制度トノ間ニ日本銀行ノ權限上如何
ナル差異ガアルカト云フ御尋ネデアツタト
存ジマス、御尋ネノ趣旨ハ主トシテ日本銀
行ノ業務ニ關スル問題デハナイカト考ヘル
ノデアリマス、業務ノ點ト致シマシテハ、
大體ノ趣旨ハ從來日本銀行ガヤツテ居リマ
シタ業務ニ附加ヘマシテ、更ニ新ナル使
命ヲ此ノ銀行ニ與ヘルト云フコトデアリマ
ス、其ノ新シク附加ヘマシタ部分ハ、主ト
シテ四ツノ點ニ分レテ居リマス

第一點ハ御承知ノ通り從來日本銀行ハ主
トシテ商業金融ニ關スル業務ヲ中心ト致シ
テ居ツタノデアリマス、其ノコトハ例ヘバ
日本銀行條例ニ於キマシテハ、直接タルト
間接タルトヲ問ハズ、日本銀行ハ工業ニ關
與シテハナラス、或ハ株券ヲ擔保トシテ金
ヲ貸シテハナラスト云ツタヤウナ規定モア
リマシテ、日本銀行ノ働キ主タル場面ハ短
期ノ商業金融ト云フコトデアツタノデアリ

○武田委員 諒解致シマシタ

○板谷委員長 是ニテ暫時休憩致シマスガ、
午後ハ豫算總會ニ於キマシテ臨時軍事費豫
算ガ上程サレマシテ秘密會デ御話ガアルサ
ウデアリマスカラ、豫算總會ノ終了後開キ
タイト思ヒマス、其ノ際ハ「ラジオ」ヲ以テ
御通知申上ゲマス

午後零時二分休憩

マス、併シナガラ御承知ノ如ク生産力擴充ヲ中心トスル事業金融ト云フモノガ今日當面ノ重要ナ金融問題デアリマスルノデ、此ノ方面ニモ尙ホ日本銀行ガ關與シ得ルト云フ建前ヲ執リマスコトハ、今後ニ於ケル我が國金融操作ノ上カラ當然ナサナケレバナラヌコトト考ヘマスルノデ、是ニ於テ本法案ニ於キマシテハ、從來ノ業務ニ加ヘテ、尙ホ産業金融ノ方面ニ於テモ日本銀行ガ乘出シテ行クト云フコトヲ立案ノ骨子ニ織込シテデアリマス、ト申シマシテモ、何モ直接ニ日本銀行ガ各事業會社ヲ相手ト致シマシテ、産業資金ヲ出スト云フ趣旨デハ勿論ナイノデアリマス、即チ狙ヒト致シマスル所ハ、産業資金ハ申スマデモナク、原則トシテ國民ノ貯蓄——國民ニ依ツテ蓄積セラレタル資金ニ依ツテ賄ハルベキデアルコトハ言フマデモナイノデアリマスガ、唯時ニ依リ場合ニ應ジマシテ需給ヲ調節致シマスル必要上、日本銀行カラ一時産業資金ヲ放出スルコトガ必要デアルト考ヘマスルノデ、ソレガ茲ニ謂フ日本銀行ヲシテ産業金融ニ與カラシムルト云フ趣旨ナノデアリマス、長期固定ノ直接ノ産業資金ヲ日本銀行ヨリ放出セシムルト云フ趣旨デハナイノデアリマス

更ニ附加ヘマシタ機能ノ第二點ハ、現在ノ日本銀行ノ仕事ハ、金融市場ニ對スル關係ニ於キマシテモ、何レカト申シマス、總テ受身ニ、消極的ニ立チ働クヤウナ仕組ニ相成ツテ居ルノデアリマス、即チ市場ノ金利ガ昂騰シテ金ガ入用ニナレバ市場カラ借リテ來ル、市場ノ金利ガ緩ンデ金ガ餘レバ日本銀行ヘ返シテ來ルト云フ、謂ハバ受身ノ立場ニ在ツタノデアリマス、併シ今後ハ

金融界モ尙ホ政府ノ政策ニ依ツテ統制ヲセラレマシテ、金利ガ上ツタカラ借りニ來ルト云フコトデハナク、上リサウナ場合ニハ進ンデ金利ノ昂騰ヲ防グ爲ニ積極的ナ手ヲ打ツ、又不必要ニ引緩ム虞ノアル場合ニ於テハ、其ノ事態ノ生ジナイ前ニ、日本銀行ガ進ンデ積極的ニ必要ナル手段ヲ講ズルト云フ操作ガ必要デアルト考ヘマスルノデ、其ノ使命ヲ今後ノ日本銀行ニ與ヘタノデアリマス、是ハ主トシテ手形、國債、一定ノ債券等ノ賣買ノ方法ガ中心トナツテ、ソレ等ノ積極的ナル市場操作ガ行ハレト思フノデアリマス

ソレカラ第三ニ與ヘマシタ任務ハ、國際金融取引上必要ガアリマスル場合ニハ、積極的ニ日本銀行ガ乘出シ得ルト云フコトヲ認メタ點デアリマス、現在ノ制度ニ依リマスルト爲替ノ賣買スラ行フコトガ出來ナイノデアリマスガ、今後ハ必要ガアル場合ニ於テハ爲替ノ賣買ヲ行ヒ得ルノミナラズ、他ノ外國ノ金融機關ニ對シマシテ、必要アリマスル場合ニ於テハ資金ノ融通デアルトカ、出資デアルトカ、其ノ他爲替決済ニ關スル取引ノ協定デアルトカ、ソレ等ノ國際金融上必要ナル取引ヲ行フコトガ出來ル、其ノ業務ヲ第三トシテ與ヘタノデアリマス、今後東亞共榮圈內ノ金融ノ中心機關トシテ働イテ參リマスル爲ニハ、ドウシテモ此ノ職能ハ必要ナコトト思ハレマスルノデ、其ノ點ヲ第三トシテ附ケ加ヘタノデアリマス

ソレカラ第四番目ニ考ヘマシタコトハ、日本銀行ハ我が國ノ中央銀行トシテ我が國ノ信用制度ト申シマスルカ、信用ノ秩序ヲ保持シ、尙ホ之ヲ育成シテ行クベキ任務ガアルト云フコトデアリマス、是ハ一寸御分

リニクイカモ知リマセヌガ、例ヘバ茲ニ新シイ或ル手形取引ノ制度ガ出來上ツタ、併シナガラ其ノ手形ニ付テハマダ世間ノ信用ガ集マツテ居ナイカラ、比較的圓滑ニ動イテ居ナイト云フヤウナ場合ニ於テハ日本銀行ハ、曾テ其ノ例ト致シマシテハ、スタンプノ手形ト云フモノヲ致シタコトガゴザイマスルガ、例ヘバ左様ナ方法ニ依リマシテ、其ノ手形ニ信用ヲ與ヘテ、サウシテ茲ニ新シイ信用制度、信用秩序ヲ作り上ゲテ行クト云フノガ、又一ツノ任務デアリマス、或ハ又消極的ニ考ヘマスレバ、何處カ金融機構ノ一點ニ多少弱點ヲ生ジタト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、日本銀行ハ進ンデ其ノ弱點ヲ補フ爲ニ相當ノ働キヲスル、其ノ結果トシテ何等金融界ノ圓滑ナル運營ニ支障ナク推移サセルコトガ出來マスルヤウニ配慮サセルト云フノガ、當然今後ニ於テ日本銀行ノナスベキ仕事デアルト云フ建前カラ、此ノ點ヲ第四點トシテ加ヘタ次第デアリマス、其ノ他細カイ點ニ付キマシテハ現行法ト異ナリマシテ、日本銀行ヲシテ特色積極的ニ仕事ヲサセマス爲ノ規定ヲ設ケタノデアリマスガ、其ノ主ナル點ハ只今申上ゲマシタ四ツノ點ニ分類シ得ルカト考ヘマス

○世耕委員 大體御説明ニ依ツテ外廓ハ分リマシタガ、約メテ見マスレバ、結局新日本銀行ガ權限ヲ擴張サレタト云フコトニハ間違ヒナイノデアリマス、更ニ言葉ヲ換ヘテ申シマスルナレバ、一番吾々ガ重要ト考ヘラレル金融ノ所謂非常ト處置トモ言フベキ權限ガ、新日本銀行ノ權限ノ中ニ強ク植エ付ケラレタト云フコトガ茲ニ考ヘラレルノデアリマスガ、順序ト致シマシテ更ニ御

尋ネシテ置キタイノハ、從來工業並ニ爲替方面ニ投資取引ヲヤツテ居リマシタ稍、類似ノ金融關係トハドウ云フ風ナ點デ接觸點ヲ保ツテ行クノデアルカ、此ノ調和ガヤハリ新日本銀行ノ業務運用ノ上ニ於テ重大ナ影響ヲ及ボスモノドラウト思フノデアリマス、尙又之ニ依ツテ初メテ新シイ日本銀行ノ存立ノ意義ガ明カニナルドラウト思フノデアリマスガ、此ノ點御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○山際政府委員 御尋ネノ點ハ私ガ了解致シマシタ所デハ、第一ニ工業方面ノ金融ヲヤル上ニ於テ日本銀行ノ持ツ使命ト、從來ノ工業金融機關トノ關係ハドウデアアルカト云フノガ第一點デ、次ニ外國爲替ノ關係ニ付テ同様ノコトハドウナツテ居ルカト云フ御尋ネデアツタヤウニ拜聽致シタノデアリマス、第一點ノ工業金融ノ點ニ付キマシテハ先程事業金融ノ問題ト致シマシテ、日本銀行ノ新シイ使命ニ付テ申上ゲタノデアリマスルガ、日本銀行ハ個々ノ事業家ナリ個々ノ産業ナリニ對シマシテ、直接産業資金ヲ放出スルコトハ致サヌノデアリマス、寧ロ既設ノ各種ノ工業金融機關ナリ事業金融機關ナリガ其ノ事業資金ヲ放出シ、其ノ工業資金ヲ放出スル過程ニ於キマシテ若シ資金ニ詰ルトカ、或ハ資本市場、例ヘバ社債ノ市場デアルトカ、株式ノ市場デアルトカ云フ方面ニ於テ事業金融上ノ梗塞ガ來ルト云フヤウナ場合ニ、一時的ニ日本銀行ガソレヲ打開スル爲ノ資金ヲ出ス、斯様ナ働キヲ致スト考ヘルノデアリマス、即チ其ノ意味ニ於キマシテ各種工業關係ノ金融機關、事業金融ヲ取扱フ機關ノ更ニ親銀行的存在ニ相成ラウト思フノデアリマス、外國爲替ニ付キマシテモ

其ノ關係ハ同様デゴザイマシテ、日本銀行ガナニモ個々ノ商社ナリ一般個人ヲ相手ニ爲替ノ賣買ヲ致ス考ハナイノデアリマス、是モヤハリ普通ノ「ビジネス」トシテ行ハレマスル外國爲替ノ賣買ハ、正金銀行初メ各種ノ爲替銀行ニ於テ今後モ從前同様行ハルベキモノト考ヘテ居リマス、唯何等カノ理由ニ因リマシテ、是等ノ外國爲替銀行ガ例ヘバ危險ヲ稱スト云ツタヤウナ關係カラ、其ノ出合ヲ求メテ日本銀行ヘ取引ヲスルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、日本銀行ハ其ノ賣買ニ應ジマシテ、外國爲替銀行ノ肩ヲ輕クスルト云ツタヤウナ働キヲスルト思フノデアリマス、即チ是亦日本銀行ハ外國爲替銀行ノ親銀行タル地位ニ於キマシテ、其ノ任事ヲシテ參ルト云フ關係ニナラウト思フノデゴザイマス

○世耕委員 大體了承致シマシタガ、結局碎イテ申シマスナラバ、保險デ言ヘバ再保險、或ハ親銀行ト子銀行、日本銀行ハ正ニ親銀行デアルト云フヤウナ形ヲ取ラデアラウト云フコトガ、只今ノ御説明デ能ク分リマシタデスガ、戰時金融庫法案ノ内容ヲ見マシテモ、恐ラク斯ウ云フヤウナ子會社ト申シマスカ、小金融ヲ皆此ノ日本銀行ガ脊負フノデアラウト云フ想像ガ付クノデアリマス、突込ンデ御尋ネスルコトハ此ノ際避ケタイト思ヒマスガ、更ニ進ンデ御尋ネ致シタイノハ、大藏省ガ從來金融政策ヲ執ツテ來タ其ノ態度、其ノ責任ヲ今度ノ新日本銀行ニ全部轉嫁シタヤウナ形ガドウモ窺ハレルノデアリマスガ、サウ云フヤウナ點ニ付テモウ少シハツキリシテ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、尙ホ附加ヘテ日本銀行ニ對シテ從來大藏省ガ執ツテ來タ監督

權ト、新日本銀行ニ對スル監督權トノ權限ノ相違ニ付テ御説明ガ願ヘレバ結構ダト思ヒマス

○山際政府委員 本法案ニ依リマスル日本銀行ハ、眞ニ政府ト表裏一體ノ關係ニ立チマシテ、恰モ政府ガ欲スル所ノ金融操作ナリ、金融政策ナリヲ、着實ニ其ノ儘實現シテ行クト云フ所ニ新シキ日本銀行ノ狙ヒガアルノデアリマス、即チ日本銀行ガ行ヒマスル仕事ハ、其ノ一ツ／＼ガ嚴密ニ國家ノ政策ト一致シテ行ハルベキデアアル、斯様ナ考ヘ方ニ立ツ此ノ方策デアリマス、其ノ意味ニ於キマシテ見方ニ依リマシテハ、御話ノヤウニ政府ガヤルベキ所ヲ總テ日本銀行ニ被セテシマツタヤウナ恰好デアルト云フ見方モ或ハ成立ツノカモ知レマセヌガ、併シナガラ其ノ意味ハ政府ニ於テ其ノ責任ヲ回避スルガ爲ニ行フノデナイコトハ勿論デアリマシテ、寧ロ政府ノ欲スル所ヲ如實ニ日本銀行ニ於テ實現サレルヤウニ、其ノ意味ニ於テ日本銀行ノ行ヒマスル仕事ヲ恰モ政府自ラ行フガ如キ任事ノ内容ニマデ接近シテ居ルト云フ結果ニ相成ツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ日本銀行ニ對スル今後ノ監督ト云フ問題ニ付キマシテハ、從來ノ日本銀行ニ於ケルヨリモ一層徹底致シマシタ監督ヲ致スコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、從來ノ制度ニ依リマスル日本銀行條例ニ於キマシテ、政府ノ監督權ハ單ニ營業上條例、定款ニ背戻スルカ、又ハ政府ニ於テ不利ト認ムル事件ヲ制止スルト云フコトヲ以テ監督ノ骨子ト致シテ居ツタノデアリマス、本法案ニ於キマシテハ、更ニ詳細ナル規定ヲ設ケマシテ、例ヘバ其ノ第四十三條ニ於キマシテ、日本銀行ノ目的達成上

特ニ必要アリト認ムルトキハ必要ナル業務ノ施行ヲ命ジ又ハ定款ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得ルト云フ規定ヲ設ケマシテ、之ニ依リマシテ、政府ノ監督權ヲ一層強化致シタノデアリマス、更ニ又續イテ、四十四條ニ於キマシテハ「主務大臣ハ日本銀行ニ對シ業務及財産ノ狀況ニ關シ報告ヲ爲サシメ、検査ヲ爲シ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得」ト云フコトヲ掲ゲマシテ、其ノ監督ノ徹底ヲ期シタ次第デアリマス、更ニ本法案ニ於キマシテハ、一步ヲ進メマシテ、第四十七條ニ於テ「日本銀行ノ役員ノ行爲ガ法令、定款若ハ主務大臣ノ命令ニ違反シタルトキ若ハ公益ヲ害シタルトキ又ハ日本銀行ノ目的達成上特ニ必要アリト認ムルトキハ總裁及副總裁ニ付テハ政府、理事、監事及參與ニ付テハ主務大臣之ヲ解任スルコトヲ得」ト云フ規定ヲ設ケマシテ、非常ニ其ノ監督ノ權限ヲ強化致シタノデアリマス、其ノ他日本銀行監督官ヲ置イテ、常時其ノ業務ノ狀況ヲ監視スルト云フヤウナコトハ、勿論從前通リト相成ツテ居リマス、之ヲ要シマスルニ日本銀行ノ今後ノ使命機能ガ非常ニ擴大サレテ參リマシタ關係ニ於キマシテ、政府ノ之ニ對スル監督權モ亦非常ニ擴張サレテ參ツタト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス

○世耕委員 爲替局長御急ギノヤウデスカラ、一寸銀行局長ノ質問ヲ留保シテ戴イテ、爲替局長ニ關聯シテ御尋ネ致シタイト思ヒマス、南方諸國ニ對スル爲替基準ノ問題ガ相當喧シク論議サレテ居ルノデアリマスガ、此ノ基準ヲドウ云フヤウナ目安ニ置イテ今後處理ヲナサルノデアルカ、此ノ點

ガ第一、第二點ハ香港並ニ上海等ノ敵性銀行ノ通貨處理ニ對シテ、今後ドウ云フヤウナ方針ヲ御執リニナルカ、特ニ香港、上海方面ノ敵性銀行ノ通貨政策ニ對シテハ、蔣政權ニ及ボス影響ガ甚大ナルコトデアリマスルカラ、相當考究サレテ居ラルコトト思ハルルノデアリマスガ、此ノ二點ヲ此ノ際御説明ヲ得タイト思ヒマス

○原口政府委員 南方ノ通貨ト我が國ノ圓トノ關係ニ付キマシテハ、只今ノ所ハ、現地ニ於キマシテ、作戰地域ニ於キマシテハ現地通貨表示ノ軍票ヲ使ツテ居リマシテ、現地ノ通貨ト等價ヲ流通ヲサセテ居リマス、ソレカラ作戰地域ナイ地方、即チ佛領印度支那及ビ「タイ」、斯ウ云フ所モ、段々ト全體ノ世界ノ爲替ノ狀況ト云フモノガ、大東亞戰爭勃發前カラ、此ノ一、二年來非常ナ變化ヲ起シテ來テ居リマス、殊ニ戰爭勃發後ニ於キマシテハ、從來ノ「ポンド」或ハ「ドル」ト云フモノノ力モ非常ニ衰ヘテ參リマシタシ、又我が國ト致シマシテハ左様ノ通貨トノ連繫ハ絶ツト云フコトニ相成ツテ參リマシタ、又佛印或ハ「タイ」、是等モ我が國ニ協力シテ參リマシテ、今後ハドウシテモ日本ト一緒ニナツテ金融政策ヲヤツテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フ方向ニ只今進ミツツ色々ノ具體的ノ相談ヲヤツテ居リマス、現ニ佛印ノ「ピヤストル」ト日本ノ圓ト云フモノハ、何レモ以前ハ「ドル」ヲ仲介トシテ決濟ヲシテ居リマシタガ、昨今ハ直接決濟スルコトニナツテ居リマス、「タイ」ノ「バート」モ日本ノ圓ト直接決濟ヲスル、斯ウ云フコトニナツテ來テ居リマス、ソコデ御尋ネノ申ニ、今後占領地域ノ通貨問題ト云フノガ入ツテ參リマスルガ、之ニ付キマシテハ何分ニ

モ只今作戦中デゴザイマスルシ、只今ノ所
圓トノ間ニシツカリシタ爲替相場ヲ作ルト
云フコトハ、實際ノ必要モ餘リゴザイマセ
ヌシ、又經濟的ニ申シマシテ時期ガ早過ギ
ル、斯ウ存ジテ居リマス、南方開發金庫ガ

出來マシテ後ニ於キマシテモ、差當リノ所
ハ軍票デ資金ヲ賄ヒマス、日本ノ圓トノ間
ノ關係ハ出來ルダケ起ラナイヤウニスル、
斯ウ云フ建前ニナツテ居リマス、併シナガ
ラ斯様ナ状態ヲ何時マデモ續ケルト云フ譯
ニハ參リマセヌ、漸次現地ノ状態ガ落着イ
テ參リマシテ、經濟的ニ或ル程度ノ見透シ
ガ出來マシタ場合ニ於キマシテハ、日本ノ

圓トノ間ニ適當ナ相場ヲ決メタイ、其ノ場
合ニドウ云フ所ヲ狙ツテ決メタルト申シマ
スルト、從來ノヤウニ第三國ノ通貨ヲ基準ニ
シテ、即チ以前ハ「ドル」トカ「ポンド」トカ云
フモノヲ仲介ニシマシテ相場ヲ決メテ居リ
マシタガ、左様ナコトハ今日ハ出來マセヌ、
又ヤルベキ筋合デモゴザイマセヌ、第三國
通貨ヲ基準ニスルト云フ方法ハ採ラナイ積
リデ居リマス、然ラバ第二ノヤリ方トシテ

金ヲ基準ニシテ決メタル、斯ウ云フコトガ考
ヘラレマスガ、是モ亦今日ノ經濟ノ實體カ
ラ見マシテ我ガ國ノ政策ニ即應シナイ、斯
ウ存ジマシテ、此ノ方法モ亦只今ノ所考ヘ
テ居リマセヌ、然ラバ第三ニ殘サレタ方法
ト致シマシテハ、日本ノ圓ノ先方ノ占領地
域ノ通貨、之ヲ直接配ニ合セマシテ其ノ換
算率ヲ決メタル、斯ウ云フコトニナリマス、
其ノ場合ニヤハリ此ノ現地ノ生産力或ハ資
源ノ狀況、民度ト云フモノガ標準ニナリマ
スルガ、何ヲ申シマシテモ物價ノ狀況ト云
フモノガ大キナ要素ニ相成ルコトト存ジテ
居リマス、情勢ノ納マル所ヲ見届ケマシテ、

左様ナ見地カラ適當ナ換算率ヲ決メテ、サ
ウシテ物資ノ交流ヲ圓滑ニヤツテ行クヤウ
ニ仕組ンデ行キタイ、斯様ニ存ジテ居リマ
ス

○板谷委員長 世耕君ニ一寸申上ゲマス、
大臣ハ方々デ引張肌ニナツテ居ルノヲ特ニ
御出席ニナツタノデアリマシテ、五時十分
前ニドウシテモ退席セネバナラヌト云フ御
話デアリマスノデ、田村君ト武田君ノ大臣
ニ對スル質問ガ保留シテアリマスノデ、順
次片付ケテ行キタイと思ヒマスカラ、アナタ
ハドウゾ暫ク御待チ願ヒマス——田村君

○田村委員 私ハ大藏大臣ニ日本銀行法案
ト戰時金融庫法案ニ付テ二、三御尋ネテ
致シテ置キタイと思フデアリマス、ソレ
ハ殊ニ此ノ日本銀行法案ノ如キハ、時局下
當然ノ改革デアルト思フデアリマスガ、
私ノ御尋ネ致シタイ、趣旨ハ、斯ウ云フ大
ナキ劃期的ノ改革ニ當ツテハ、世間ニ私共
ガ理解スル以外ニ或ル種ノ誤解ガアツタ
リ、或ハ又不安ヲ生ズルト云フヤウナ場合
ガアル、或ハ又世間ニソレガ運用ニ對シテ
ノ希望ヲ持ツ點モアル、斯ウ云フ點ニ對シ
テ責任アル大臣ガ世間ニ對シテサウ云フ誤
解ヲ解キ、不安ヲ解消スルト云フ意味ニ於
テ出來ルダケ明確ナル御説明ヲ願ヒタイ、
斯ウ云フ趣旨デ二、三御尋ネテ致シタイト
思フデアリマス

先ツ第一ハ日本銀行法案ニ關スル點デア
リマスガ、今回大東亞ノ中央發券銀行トナツ
テ、通貨ハ管理制度ニ改メラレルト云フ
コトデアリマスノデ、從來ノ兌換制度ト異
ツテ、此ノ資金供給ノ上ニ從來國債ヲ擔保
トシタモノガ社債ニモ及ボス、隨テ非常ニ
寛大デ迅速ニ行ハレマスガ、一方寛大ナル

ガ故ニ出シ過ギルヤウナコトガ又ナイトハ
言ヘナイ、ソコデ大東亞共榮圈ノ産業開發
ノ爲ニ産業金融トシテノ機能ヲ十分ニ活用シ
テ貫ハナケレバナラヌ一面ニ於テ、ソレガ
或ハ社會的ニ「インフレ」ヲ醸成スルノヂヤ
ナイカト云フ點モ起ツテ來ルノデアリマス、
ソコデ所謂管理通貨制度ニナツタ日本銀行
ガ發券ニ當ツテノ基準——現在ハ最高發行
額ハ四十七億ト抑ヘテ居ルヤウデアリマス
ガ、今後愈々大東亞ノ産業ガ擴充サレテ行
ツテ、此ノ四十七億圓ガ更ニ多クナツタ場
合、其ノ發行高ノ基準ヲ何處ニ抑ヘルカ、
又今後ノ方針ヲドウシテ行クカ、現在四十
七億デアアルノガ、此ノ法律ガ新クニ生レタ
場合ニドウノ程度ニシテ行ク御見込デアアルカ
ト云フ點ヲ、此ノ際發行高ニ關スル意味カ
ラ、是ハ此ノ法ノ目的トシテ居ル所謂信用
制度ノ保持育成ト云フ點ニ重大ナル關係ガ
アリマスノデ、出來ルダケ明確ニ御説明ヲ
願ヒタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 只今御述ベニナリマシタ
問題ハ極メテ重大且ツ適切ナル問題デア
ルト存ジマス、先ツ日本銀行ハ産業金融ニ乘
出スト云フコトヲ言ハレテ居リマスルシ、
又今回ノ改正案ノ趣旨ノ一點ガソコニモア
ル譯デアリマス、ソレニ付キマシテ一言
申上ゲテ置キタイ、私ハ國債消化資金、
産業資金ト云フモノハ國民ノ蓄積ニ依ツ
テ出タ資金ヲ以テ賄フベキモノデア
ルト、斯ウ云フ根本ノ考ヘヲ持ツテ居リマス、
隨テ日本銀行券ノ増發ニ依リマシテ産業資
金ト云モノハ根本的ニ賄ハレ得ルモノデア
ナイノデアリマス、唯細カク申シマス、ソ
コニ二點考フベキ點ガアリマス、ソレハ全
體論トシテ、長イ間ノコトトシテハ國民ノ

蓄積ニ俟ツノデアリマスガ、國民ノ蓄積ノ
増加シテ參リマス時期ト、産業資本ノ要リ
マス時期ガ、或ハ數箇月トカ、若干ノ期間
出合ヒノ惡イコトガ往々アリマス、隨テ普
通銀行等ノ資金ノ蓄積ヲ俟ツテ居リマシテ
ハ必要ノ場合ニ應ジ難イ、斯ウ云フ場合ニ
日本銀行ガ其ノ發券作用ニ依リマシテ資金
ヲ供給スルト云フコトハ必要ニナルノデア
リマス、今マデハソレガ十分ニ行キマセヌ
爲ニ障礙ガアルト認メラレマスノデ、今回
其ノ邊ヲ明確ニ致シタイノデアリマス、是
ハ公債消化資金ト同様デアリマス、只今ハ
日本銀行ヲシテ公債ヲ引受ケシメテ居リマ
スガ、是ハ必ズ民間ニ賣出シ、之ヲ消化ス
ルト云フコトヲ必要ト存ジテ居ルノデア
リマス、要スルニ民間資金ノ蓄積ガ出來テ初
メテ公債ガ發行シ得ルト云フコトデハ、時
間的ニ非常ニ窮屈サガアリマシテ、戰時ノ需
要ニ應ジ得ナイト云フ爲ニ、今日日本銀行引
受制度ヲ執ツテ居リマスガ、是ハ徒ラナ日
本銀行券ノ膨脹ニ依ツテ公債ヲ賄フモノデア
ルト云フ考ヘノ下デハナイノデアリマス、
隨ヒマシテ日本銀行ガ公債ノ背負込ミ増加
ヲ生ジマスコトハ極メテ大事デアリマス、
是ハ産業資金ニ付テモ同様デアリマス、唯
國家經濟總力ガ増加致シマシテ、銀行券ノ
所要ガ増加シマシテ、或ル程度ノ膨脹ガ必
要デアルト云フ範圍内ニ於テハ許サレルコ
トデアリマスガ、是ハ民間ノ所要量ナドニ
比レバ極メテ少額デアリマス、原則トシ
テハ前ニ申上ゲタヤウナ次第デアリマス、日
本銀行ノ銀行券發行高ヲドウスルカト云フ
コトデアリマスガ、是ハ之ヲ適量ニシテ行キマ
ス根本ノ方策ハ、國債或ハ産業資金等ニ依ツ
テ通貨ノ撤布ガ行ハレルノデアリマス、之ヲ

體論トシテ、長イ間ノコトトシテハ國民ノ

體論トシテ、長イ間ノコトトシテハ國民ノ

體論トシテ、長イ間ノコトトシテハ國民ノ

體論トシテ、長イ間ノコトトシテハ國民ノ

體論トシテ、長イ間ノコトトシテハ國民ノ

資金ノ蓄積、國民貯蓄ノ増強ニ依リマシテ回
收ヲスル、是ガ根本デアリマス、需給ノ根本
デアリマスガ、其ノ間ニ日本銀行ノ各種ノ操
作ニ依ツテ之ヲ調節スルト云フ、是ハ全體
ガ大キナ二ツノ流れノ中間ニ操作ガ殘ル譯
デアリマス、ソレ等ノ點ヲ考ヘマスルカラ
發行限度ハ大體ニ於テ最近ノ實績ヲ勘案致
シマシテ、其ノ後ノ變化ガ如何デアツテ産
業活動ハドウ増スデアラウカ、不健全ナラ
ザル通貨ノ必要ハドウ増スデアラウカ、斯
ウ云フ點ヲ考ヘマシテ決定ヲ致シタイト思
ヒマス、尙ホ日本銀行ガ大東亞金融圈ノ中
心トナリ、此ノ機能ガ高度ニ發揮サレマス
ヤウナ場合ニハ、海外ノ中央銀行ノ準備ト
シテ日本銀行券ガ用ヒラレル場合モ起ツテ
來ルカト存ジマスガ、斯様ナ場合ニハ其ノ
數量モ加算ヲ致シテ考ヘルヤウニ相成ラウ
ト存ジマス

○田村委員 次ニ第二點デアリマスガ、大
東亞共榮圈ノ金融ノ中心機關ニナリ、中央發
券銀行トシテノ機能ヲ完全ニ達成スル爲ニ
ハ、私ハ現在ノ朝鮮銀行ノ發券制度、臺灣
銀行ノ發券制度ハ日本銀行ガ之ヲ吸收スベ
キモノデアルト斯ウ思フノデアリマス、此
ノ點ハ午前ノ委員會ニ於テ政府委員カラ
モ一應ノ御説明ガアツタヤウデアリマスガ、
私ハ適當ナル機會ニ之ヲ吸收スベキモノデ
アル、吸收シナケレバナラスト斯ウ考ヘル
ノデアリマスガ、此ノ點ニ對スル御方針ヲ
承リタイ

○賀屋國務大臣 大東亞共榮圈ノ中心の銀
行ニ日本銀行ガナル場合ニ於テモ、發達過
程ニ大東亞金融圈内ノ全地域ノ政治形體
等ニモ依リマシテ、各地域ノ中央銀行、又
ハソレニ類似ノ作用ヲナスヤウナモノ、發

券ヲ致シマスヤウナ銀行モ相當長イ間存在
シ、場合ニ依ツテハ永久ニモ存在スルコト
デアリマシテ、一元的ニ日本銀行券ニ致ス
ト云フコトニハ相成ラスト思ヒマス、併シ
ナガラ御質問ノ如ク朝鮮銀行及ビ臺灣銀行
ハ所謂外地デアリマスルガ、日本ノ國內
ニ於テ流通ヲ致スモノデアリマス、朝鮮モ
臺灣モ我が國ノ統治ノ下ニナリマシテ、餘
程久シキ年數ニナリマスノデ、漸次是ハ統
一ノ機運ニ向フベキモノデアアル、斯様ニ存
ジテ居リマス

○田村委員 次ニヤハリソレト關聯シテデ
アリマスガ、先程御話中ニモアリマシタガ、
大東亞共榮圈ノ金融機能ヲ統制シテ行クト
云フ大キナ任務ヲ日本銀行ガ持ツ、朝鮮銀
行、臺灣銀行、是モ内地同様デアリマスカ
ラ、今ノヤウナ希望ヲ申上ガタノデマスガ、
大東亞共榮圈内ノ、或ハ滿洲ノ中央銀行ト
カ、或ハ中國聯合準備銀行トカ、或ハ華興
商業銀行トカ、或ハ中央儲備銀行トカ、今
回出來ル南方金庫、是ハ多少違ヒマセウガ、
ソレ等ノ銀行ノ通貨機能ニ對シテハ、日本
銀行ガ適當ニ統制シテ行クト云フコトガ、
大東亞共榮圈ノ健全ナル發達ヲ促ス上ニ於
テ必要デアルト思フノデアリマス、就キマ
シテハ是等ノ關係モ考ヘテ行カナケレバナ
ラスト思ヒマス、先程申上ゲタ大東亞共榮
圈内ノ我が國ト相關聯シテ居ル各國ノ銀行
ノ通貨ノ統制ニ付テ何カ御考ヘガアリマス
カ、伺ヒタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 只今支那ニ於キマシテハ、
我が方ト協力致シマスル部面ニ於キマシテ
ハ、北方ニ於テハ聯合準備銀行、中支ニ於
キマシテハ中央儲備銀行ガ、發券銀行タル實
ヲ備ヘテ居ルノデアリマス、北支ノ聯合準

備銀行ノ如キハ、様々ナ批評モアリマスガ、
私ハ所謂戰時ニ於キマシテ、而モ若干日前
ニハ、天津ノ租界ノ如キ、支那政府ノ行政
權ヲ受ケマセス所モアル狀態デアリ、又民
度モ高度ノ統制經濟ノ運用ニハ適シマセス
ヤウナ狀態ニアリマシテ、而モ古イ考ヘ
方カラ申シテ、左様ナ自由主義的經濟ノ色
ガ多分ニ存スル所ニ於テ、必要デアリマス
ル金準備ナドト云フモノヲ持チマセスデ、
アノ程度ノ職能ヲ果シテ參リマシタコトハ、
非常ニ成功デアルト私ハ存ジテ居ルノデア
リマス、併シナガラ現狀ニ於テ満足デア
ルカト言ヘバ、是ハ自ラ別問題デアリマス、
尙ホ其ノ發券等ニ付キマシテハ、十分ニ考
慮スル餘地ガアルト思フノデアリマス、中
央儲備銀行ニ於キマシテハ、創立尙ホ日ガ
淺イノデアリマシテ、尙更各種ノ問題ガア
リ得ル譯デゴザイマスガ、併シ只今ハ總テ
ノ經濟ガ物資方面、通貨方面ニ極メテ密接
ナル關係ヲ持ツテ居リマスルノデ、通貨
方面ノ作用ノミニ依リマシテ其ノ健全
ヲ期スルコトハ、到底困難デアリマス、發
券銀行ダケガ通貨ヲ増發シ、或ハ收縮シテ
行ツテ、是デヤルト云フコトハ困難デアリ
マス、所謂綜合經濟政策、經濟ノ綜合現象
ノ結果ノ反映デナクテハナラス、他ノ經濟
施設ト密接ナル關係ヲ持ツテ參ル必要ガア
ルノデアリマス、隨ヒマシテ其ノ觀點カラ
申シマシテモ、又政權ガ別個ノモノデアリ
マス觀點カラ申シマシテモ、直接日本銀行
ガ其ノ發券其ノ他ヲ指導致スト云フ譯ニハ
參リ兼ネルカト思ヒマス、併シナガラ日本
側ハ北支、中支、皆支那側ノ健全ナル發達
ニ協力シテ參リマシテ、現ニ日本側ノ顧問
モ入ツテ居ルコトデアリマスノデ、事實ハ

能ク協調ヲ保チマシテ、其ノ發券ニ付テハ
適當ニ助力ヲ致シテ參ル積リデアリマス
○田村委員 モウ一點ハ此ノ法案ノ第二十
三條、第二十四條デアリマス、日本銀行ハ
今回外國爲替ノ業務ヲ持ツ、國際金融取引
ノ仕事ヲ始メルト云フコトニナツテ居ルノ
デアリマスガ、サウ致シマス殊ニ此ノ大
東亞戰爭ハ長期戰ヲ何人モ覺悟シテ居ルノ
デアリマス、其ノ大東亞共榮圈内ノ外國爲
替、國際金融ト云フモノハ擧ゲテ此ノ法案
カラ見マス日本銀行ニ移ルノデアリマス、
サウ致シマスト戰爭ガ濟ンデ大東亞共榮圈
外ノ第三國トノ取引ニナレバ別デアリマス
ガ、ソレガ起ラヌ限リハ正金銀行ノ機能ト
云フモノガ停止セラレテ、大東亞共榮圈内ノ
國際取引ハ日本銀行ニ移ル、斯ウナルヤウ
ニ思ハレルノデアリマスガ、此ノ新制度ニ
當ツテ正金銀行ノ今後、日本銀行トノ關係
ヲドウ云フ風ニセラレル御積リデアリマス
カ

○賀屋國務大臣 本法案ニ於キマシテ外國
爲替ノ賣買ヲ爲スコトヲ得トナツテ居リマ
スガ、是ハ文字通りデアリマシテ、スルコ
トガ出來ルト云フノデアリマス、隨ヒマシ
テ商社等ノ外國爲替ニ付キマシテ直接ニ日
本銀行ガ其ノ賣買、所謂爲替取引銀行トシ
テ出ル意味デアリマセヌ、此ノ場合ニ於
キマシテモヤハリ銀行ノ銀行トシマシテ、
或ハ正金銀行デアリマストカ、臺灣銀行デ
アリマストカ、左様ナ爲替銀行ノ寧ろ親銀
行ト申シマスカ、サウ云フ決濟尻ヲ日本銀
行ニ大體集メテ行ク、斯ウ云フ考ヘデアリ
マスカラ、他ノ爲替銀行ノ業務ハ之ニ依ツ
テ所謂其ノ業務ガ狭クナル、斯ウ云フ影響
ハ受ケマセヌ、但シ正金ガ英米等ノ系統ノ

能ク協調ヲ保チマシテ、其ノ發券ニ付テハ
適當ニ助力ヲ致シテ參ル積リデアリマス
○田村委員 モウ一點ハ此ノ法案ノ第二十
三條、第二十四條デアリマス、日本銀行ハ
今回外國爲替ノ業務ヲ持ツ、國際金融取引
ノ仕事ヲ始メルト云フコトニナツテ居ルノ
デアリマスガ、サウ致シマス殊ニ此ノ大
東亞戰爭ハ長期戰ヲ何人モ覺悟シテ居ルノ
デアリマス、其ノ大東亞共榮圈内ノ外國爲
替、國際金融ト云フモノハ擧ゲテ此ノ法案
カラ見マス日本銀行ニ移ルノデアリマス、
サウ致シマスト戰爭ガ濟ンデ大東亞共榮圈
外ノ第三國トノ取引ニナレバ別デアリマス
ガ、ソレガ起ラヌ限リハ正金銀行ノ機能ト
云フモノガ停止セラレテ、大東亞共榮圈内ノ
國際取引ハ日本銀行ニ移ル、斯ウナルヤウ
ニ思ハレルノデアリマスガ、此ノ新制度ニ
當ツテ正金銀行ノ今後、日本銀行トノ關係
ヲドウ云フ風ニセラレル御積リデアリマス
カ

關係ノ通商ガ一切止マリマシタ影響ハ之ヲ受ケマスルガ、是ハ本法ノ改正トハ別個ノ問題デアルト存ジマス

○田村委員 次ニ戰時金融庫法案ニ付テ

二、三御伺ヒ致シタイノデアリマス、此ノ戰時金融庫法案ニ付キマシテハ、日本銀行ノ制度ガ改革ニナルノハ當然デアリ、現在既ニサウ云フヤウナ機能ヲ發揮シツツアツタモノトハ異リマシテ、戰時金融庫ノ制度ニ付テハ多少世間ニ疑議ガアルヤウニ思フノデアリマス、生産擴充、産業再編成ヲ目標トシテ自給自足經濟ノ政策ヲ十分ニ完備シタイ、斯ウ云フ意味カラ今マデヤツテ居ツタ金融機關、現在ノ金融機關以外ノ制度トシテ戰時金融庫制度ガ生レントシテ居ルノデアリマスガ、私ハ此ノ際現在ノ金融機關ヲ活用スルナリ、或ハ現在ノ金融機關ヲ改組シテ、其ノ戰時、時局性ヲ帶ビタヤウナ改組ニ依ツテ、現在ノ金融機關ハ既ニ色々ナ設備ガ完備シテ居ルノデ、此ノ制度ヲ活用スルコトガ寧ロ新タニ作ルヨリハ其ノ目的ヲ十分ニ達成シ得ルンデヤナイカト云フ考ヘ方ヲスル者デアリマス、最近革新論デ色々ナ制度ヲヤル、或ハ國策會社ヲ作ル、或ハ色々ナ組合ヲ作ル、營團ヲ作ル、觀念トシテハ新シイ經濟開發ニ當ツテノ仕組トシテハ洵ニ立派デアリマスガ、楮テ之ヲ運用セントスルコトニナリマスルト、是ハ諄々シク申上ゲナクテモ大臣能ク御承知デセウガ、既ニ議會ヲ通過シテ居ル所ノ色々ノ制度デモ活用シテ居ナイ、上ノ方ノ職員ガ俸給ダケ取ツテ、チツトモ營團ナリ國策會社ヲ運用サレテ居ナイ、實績ヲ齎ラシテ居ナイ、唯一部ノ職員ガ食ツテ行クト云フコトガ間間アルノデアリマス、ナゼサウ云フコトガ

出來テ來ルカト申スト、私ハ手足ガナイ、人ガナイ、頭ガ出來タガ設備ハソレニ即應シナイカラダト思フ、斯ウ云フコトガ現在ノ革新觀念ノ實際運營ニ當ツテ生ズル大キナ弊害デアルト思ヒマス、戰時金融庫ヲ新設スルニシテモ、此ノ點ヲ深ク考慮シナケレバナラスト思ヒマス、其ノ點カラ言ツテ私ハ現在ノ金融機關ヲ改組シテ、其ノ戰時金融庫法案ノ狙ハントスル所ヲ、十分ニ實行シ得ルノデナカッタカト斯ウ考ヘルノデアリマス、ソレカラ一緒ニ伺ヒマスガ、金融ダケデ生産ノ擴充ト云フコトガ直チニ行ハレルモノデナイノデアリマス、殊ニ戰時金融庫ノ狙ヒ所ハ大體採算ノ採レナイモノヲ狙ツテ居ル、サウ云フコトニ對シテ金融ヲ注グト云フヨリハ、從來アツタ補助金制度、獎勵金ト申シマスガ、戰時的ナ特殊ノ補助金制度ト云フモノヲ活用シテ行ツタ方ガ寧ロ效果ヲ擧ゲ得ルノデハナカッタカト云フコトモ考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ヲ引括メテ伺ツテ置キマス、私ハ最初ニ承リマシタ現在ノ機關以外ニ之ヲ作ル其ノ人ガ果シテ御用意ガアルカドウカ、觀念ハ宜イガ、制度ハ宜イガ、併シ之ヲ實際ニ移ス場合ニ、其ノ準備ガ整ヒ得ルカドウカ、人ガアルカドウカ、頭ダケアツテモ胴體以下ガ之ニ伴ハナイト云フコトデハ、目的ヲ實現スル譯ニ行カナイノデアリマス、ソレニ關聯シテ此ノ戰時金融庫ヲ準備スルノニ、ドノ位期間ガ掛ツテ、何時カラ實際ノ仕事ニ入ラレル御用意デアリマスカヲ伺ヒマス

○賀屋國務大臣 戰時金融ト云フコトニ付

キマシテ、戰時金融ノ爲ニ戰時金融會社ヲ作ルト云フ説ガアリマスガ、私ハ戰時下ノ

金融デ、戰時金融デナイモノハナイト云フコトヲ話シテ居リマス、戰時ニ特殊ノ金融ガ必要デアルト云フ觀念カラ、戰時金融庫ノ設立ヲ考ヘテ居リマセヌ、戰時下ニ於キマシテハ、總テ一國ノ政府民間ヲ問ハズ、其ノ資金的活動ハ物資努力ノ供給ト合フコトガ必要デアアルノデアリマス、ソレ以上ニ資金ヲ出シマシテモ、是ハ所謂物價騰貴ヲ起シ、進ンデ經濟ノ秩序ヲ攪亂シマスダケデ、何等ノ效用ガアリマセヌ、隨ヒマシテ先程モ日本銀行ニ付テ御話ガアリマシタガ、今回

ノヤウナ改正ヲ致シマシテ、所謂金融機關

ヲ離レテ、自由ニ金ヲ出シテ、樂ニ金ガ廻ツテ「インフレ」ニナルノデハナイカト云フ考ヘテ居リマセヌ、樂ニスルガ、決シテ必要以上ニ出サヌ、此ノ點ハ十分ニ注意シテ努力シテ參ル積リデアリマス、話ガ餘談ニナリマシタガ、サウ云フ物資其ノ他ノ計畫ト關聯シマシテ、政府資金トシテ又民間資金トシテ、必要ナ資金ハ必ズ作ル、國民貯蓄ノ増加ニ依ツテ作ル、同時ニ必要ナ資金ハ一厘モ出サヌ、是ガ詰リ昭和十二年ニ支那事變擴大ト決マリマシタ時ニ、資金調整法ヲ提案シタ理由モ其處ニアルノデアリマス、而モ其ノ不必要ナル、必要ナル資金ハ、一國ノ國防及ビ産業ノ計畫カラ見マシテ、如何ナル産業ヲドノ程度ニ何時起スカ、此ノ計畫ト合フコトガ必要ナデアリマス、ソレガ資金調整法ノ制定ノ眼目デアアルノデアリマス、併シナガラ所謂企業計畫、産業計畫ヲ一國綜合的ニ起シマスコトハ中々困難ナモノガアリマスノデ、其ノ運用ニ付キマシテモ相當當初ハ幼稚ナ形態デアツタノデアリマスガ、略、初期ノ目的ヲ達シテ參ツタ

ノデアリマス、サウ云フ點カラ考ヘマシテ、現在ハ普通銀行ノ融資モ、貯蓄銀行ノ融資モ、所謂商業銀行ノ融資ニ付キマシテモ、皆此ノ戰時下ニ於キマシテハ非常ニ事業金融ノ色彩ヲ帶ビテ參ツタ時代デアリマス、併シナガラ尙ホサウ云フ時代ニ於キマシテモ、之ニハ各種類各場面ガアリマスルノデ、昭和十二年ノ事變擴大ノ後ニ於テ、戰時金融會社ノナモノヲ作ルヤ否ヤト云フコトヲ考慮シマシタガ、丁度只今御話ノヤウナ新規ノ機構ト云フモノハ、其ノ所期ノ效果ヲ發揮シ得ザル場合ガ中々多イノデアリマスカラ、私ハ興業銀行ノ機能ノ擴大デ其ノ時發行限度ヲ相當ニ擴張シテ參リマシテ、其ノ方針ガ爾來今日マデ四年執ラレテ參ツタノデアリマス、併シナガラ其ノ後ノ情勢ヲ見マスルノニ、日本ノ國防力ノ増強發展ノ爲ニハ新規ノ企業ノ計畫ヲ要スルモノガ相當多イノデアリマス、併シナガラ一方銀行ハ預金者ノ大事ナ預金ヲ預ツテ居リマシテ、之ヲ大切ニ保護シマスル見地カラ、將來其ノ元本利子ノ償還性ノ不十分ナモノニ對シテ投資スルコトハ、他ノ面カラ見テ極メテソレハ慎ムベキコトデアリマス、併シナガラ時勢ノ要求ハ新規ノ事業デ國家的ニハ極メテ必要デアリマス、併シ其ノ將來ノ採算性ガ、隨テ元本利子ノ償還性ガ確實ナリヤ否ヤト云フコトニナリマス、疑念ヲ挾ム餘地ノアルモノガ相當アリマス、疑念ヲ挾ム餘地ノアルモノガ國家的ニ見テ其ノ事業ハ成リ立タナケレバナラス、斯ウ云フ問題ニ出會シマシタ、申上ゲルマデモナク金融機關モ國家的ニサウ云フモノニ進ンデ融資ヲシ

口、又能ク理解スレバ其ノ將來性ノ不安ガ

第六類第四號 日本銀行法案外二件委員會議錄 第三回 昭和十七年一月二十六日

ナイト云フコトヲ理解スル方面モアルノデアリマシテ、頭ヲ新シク變ヘルト理解セラレルトコロモアリ、金融界モソレニ協力シタノデアリマス、所ガ其ノ元本利子ノ償還性ノ不確實ナモノ、是ハ預金者ノ大切ナル預金ヲ預ツテ居リ、而モ其ノ預金ハ私的ナモノデナク國債ノ消化、産業資金供給ノ爲ニ一國ノ經濟ノ大政策トシテ貯蓄ノ獎勵ヲシテ居ルノデアリマシテ、其ノ預金ガ不安ニナルト云フコトデハ、是ハ經濟政策ノ根本ガ崩レルノデアリマス、左様ナ不安ナ金融ニドシテ乗出スト云フコトハ大變無理ナ註文デアリマス、其ノ調和ノ一策トシテ所謂強制融資ノ方法ガ出テ參リマシタ、所謂命令融資ト云フコトガ行ハレ、今日ニ於テハ興業銀行ガ擔當シテ居ルノデアリマス、併シナガラサウナリマス、普通ノ金融機關ガ普通ノ立場カラ元利ノ償還確實ナリト思フ資金ノ融通ハ、從來ノ立場カラ無論出來ルト思ヒマス、又國家ガ命令融資ヲシマシヤウナ、元利ヲ確實ニ國家ガ保障スルト云フヤウナ債務ノ所モ融資ガ出來マスガ、併シ世ノ中ニハサウ黒カ白カハツキリシタモノバカリハアリマセヌ、相當國家ガ必要ナ産業デアツテヤラナケレバナラス、是ハ軍部ニ於テモ必要ヲ感じ、産業行政機關方面ニ於テモ必要ヲ感じマス、併シハツキリ國家ガ融資命令デアルカト云フト、中々ソレニハ慎重ナ研究ガ要ツテ、簡單ニ行カナイ、併シ普通ノ金融カラ見ルト相當危イコトニナル、サウ云フモノガ相當出マシテ、所謂白ト黒トノ實際問題トシテ間ガ出來ル、是ハ長イ時間ヲ掛ケルト白カ黒カニナツテモ、サウ時間掛ケタノデハ遅クナツテ、中金融ガ間ニ合ハヌト云フ場面ガ出テ來ル

ノデアリマス、サウ云フコトハ現在ノ金融機構デハ出來ニクイ、併シ國家ノ爲メダカラヤルト云フコトハ、國家保障ノナイモノガ乘リ出スト、或ハ將來一般ノ金融機關ニ相當不確實ナル債權ヲ殘シ、資産ノ不安ヲ起スト云フコトガアリマセウ、是ハ私ハ宜クナイト思フ、ソレデサウ云フ「リスク」ガアルモノニ乗出ス必要ガ一面ニアル、ソレナラバ乗出スニ適當ナモノガドウモココデ段々出來ナケレバナラスト云フ情勢ニナツタ、愈々支那事變モ發展ヲ致シマシテ、大東亞戰爭トナリマシタ、大東亞ノ建設ト云フコトニナリマスレバ、是ハ素人トシテ考ヘマシテモ、世界第一流ト云フヨリモ第一等ノ大陸軍、大海軍ヲ作ラナケレバナラス、ソレヲ築キ上ゲ、其ノ陸海軍ガ戰時ニ於テ近代戰ハ非常ナ兵器彈藥ノ消耗戰デアリマスルガ、其ノ消耗ニ耐ヘテ、之ヲ補充シテ行クト云フ爲ノ所謂生産力、運輸力ト云フモノガ、實ニ大規模ノモノガ出來ナケレバナラス、將來大キナ産業計畫ガ出來マスレバ、「スチール」ガ何千万「トン」、石炭何億トン、船舶何千万「トン」ト云フ風ナ大ナ構想ノ下ニ、ソコニ大ナル國防經濟力ガ出來ナケレバナラス時代ニナル、今後益々生産擴充ト云フコトハ必要デアル、其ノ生産擴充ノ必要ナ部面ニ於キマシテハ、斯ウ云フ事業ハドウシテモ此ノ程度ニヤラナケレバナラス、併シソレガ果シテ將來長ク立派ナ採算性ガアルカドウカト云フト、其ノ中途デハ相當不安ノ多イモノガアル、併シサウ云フモノヲドシテ起シテ行カナケレバナラス、ソレニハ斯ウナリマス、ソレヲ専門ニ扱フ機關ガドウシテモ必要デアル、今マデノヤウニドツツ付カズニ置イ

テ、唯國家ノ爲ニ出口ト云フモノ、少シ無理ガアリマス、併シサウカト云ツテ、一々ニハ命令融資、損失補償ト云ツテ、其ノ事業毎ニ依ツテ行クコトモ、中々骨ガ折レルノデアリマス、ソコデ斯ウ云フ國家全體ガ力ヲ入レテ居リマシテ、萬一損失ガ出來テモ構ハズニ行ケルト云フ一ツノ機關ヲ作ツテ行ク方ガ、積極的ニ其ノ必要ニ應ズル所ノ意味ガアリマスルシ、又消極的ニハ一般金融機關ガ不堅實ニナル——實ハ是ハ不堅實ニナラスデ多ク終ツテ居リマスガ、ナルト云フ疑ヒヲ避ケテ行ク、是ハ大切ナルコトデアリマス、其ノ兩面カラ最早之ヲ作ル時期デアル、此ノ大東亞戰爭ノ擴大致シマシタ此ノ機會ニ於テ、此ノ機關ヲ設ケルベキデアルト考ヘタ次第デアリマス、御説ノ如ク、新シイ店開キヲ致シマス、行員ナドモ皆他カラ集マルノデアリマシテ、ドウシテモ新規ノ所ニハ中々良イ人ヲ澤山集メルコトハ困難ト云フコトハ、今マデノ實例ガ左様デアリマス、又集マリマシタ人ガ新シイ機關ノ使命ヲ自覺シテ、ソレニ合フヤウニ「チーム・ワーク」ヲ以テ運行シマスマデニハ暇ガ掛リマス、是ハ何レノ機關ト雖モ、相當ソレガ慣熟シタ運行致シマスマデニハ暇ガ掛ルノデアリマス、今回モ恐ラクサウデアアラウト思ヒマス、併シナガラドウセ相當長イ將來ニ互リマシテ必要ナ機關デアリマスカラ、成ベク良イ人ヲ集メルヤウニ努力ヲ致シマシテ、成ベク早く所期ノ目的ヲ達スルヤウニ努メテ參リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、大體成ベクナラバ四月ノ中ニハ開キタイ、斯ウ云フヤウナ方向デ進ンデ居リマス

マスガ是ハ今申上ゲマシタヤウナ所謂「リスク」ノアル金融、將來ノ償還性が不確實ト申シマスカ、是ハ單ナル金融業者ノ判斷ガサウナルト云フ意味デアリマシテ、寧ろ事業家ノ方デハ相當自信ノアルモノガ澤山アル、唯從來ノ事情ト違ヒマスカラ、他カラ見ルト、果シテ其ノ通り確實カドウカト云フコトガ非常ニ不安ガアルノガ多イト云フコト、實際ハ不確實ナ事業デナイモノガ多々アルガ、確實ナルモノト直グ考ヘルト云フニハ無理ガアル事業デアリマスカラ、是ハ貸付ヲ致シマシテ、其ノ事業ガ十分ニ成立ツテ、其ノ元利ノ償還ヲ期シテ居ルノデアリマス、澤山ノ中ニハ無論サウナラナイモノモアラウト思ヒマスガ、一應サウデアリマスカラ、之ヲ國家ノ補助金ニ依ツテヤリマスコトハ極メテ不適當デアルト思フノデアリマス、左様ナ意味デ補助金ニ依リマセヌデ、補助金ニ依リマスモノハ個々ニ又サウ云フ必要ノアルモノハ選擇ヲ致シテ、別途豫算等ニ於テ御協賛ヲ得ル、斯ウ云フ考ヘ方ニ致シテ居リマス

○粟山委員 委員長、質問ヲモウ少シ整理シテ貰ヒタイ

○板谷委員長 マダ初メデスカラモウ少シ御辛抱願ヒマス

○田村委員 大體分リマシタ、只今御話ノ中ニアリマシタ興業銀行ニ對スル強制融資ノ今マデヤツテ居リマシタ仕事ガ、大體戰時金融金庫ニ移ルト致シマス、興業ノ融資命令制度ト云フモノハ今後如何ニナサカオ積リデアリマスカ

○賀屋國務大臣 大體戰時金融金庫ニ付キマシテハ、個々ニ融資命令ヲ出シマス、金融ガナイモノデ、是ガナケレバ融資命令ヲ

出サナケレバナラナカツタカト云フモノノガ
大體行クコトニナリマス、然ラバ融資命令
ト云フモノハ全部ナクナルカト申シマス、
私ハ必ズシモ左様ニモ考ヘテ居リマセス、
銀行ノ職能ハ御承知ノ如ク右左ト截然ト區
別致シマセス、普通銀行デモ不動産融資モ
致シ、興業金融モ致シ場合ガアリマス、今
回勸業銀行、農工銀行法等ヲ改正致シマシ
テ、是等ガ不動産金融以外ニ相當出得ルヤ
ウニ致ス考ヘデアリマスノデ、大體ノ主眼
點ヲ置キマスガ、法令上他ノモノハ絕對ニ
出來ス、是ハ必ズ其ノモノニ限ルノダト云
フ區別ハ致シマセス、資金ノ集マリマシタ
狀況ノ工合、相當ニ遊資ヲ興業銀行ガ持チ、
又從來ノ取引關係等カラ興業銀行ト事業家
ノ關聯ガアリマスルヤウナモノ、サウ云フ
ヤウナ實際ヲ考慮致シマシテ、命令融資ヲ
興業銀行ニ出ス場合モ尙ホ私ハ殘リ得ル、
斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○板谷委員長 田村君、成ベク簡潔ニ願ヒ
マス

○田村委員 次ニ産業設備營團ト本金庫ト
ノ關係デアリマスガ、産業設備營團ハ時局
柄重要ナル産業施設ニ對シテノ貸付或ハ資
金ノ供給ト云フコトヲ任務トシテ居リ、又
未動遊休設備ニ對シマシテモ同ジヤウナ業
務ヲ持ツテ居ルト思フデアリマス、ソコ
デ産業設備營團ガ戰時金融金庫ガ狙ツテ居
ルヤウナ業務ヲサウ云フ機能ヲ相當持ツテ
行カネバナラヌシ、持チタイト云フ風ニ私共
承ツテ居ルノデアリマスガ、産業設備營團
ノ活動範圍、其ノ方向、竝ニ未動遊休設備
ニ對スル兩者ノ關係等ヲ此ノ際明確ニシテ
其ノ間紛淆ガナイヤウニ、世間ノ誤解ノナ
イヤウニシテ置イテ戴キタイ

○賀屋國務大臣 所謂産業再編成、其ノ中
ノ相當大キナ部分ヲ占メマス所ノ所謂未動
遊休設備ニ付キマシテ、事業ヲ廢止致シマ
スルモノ、又未動遊休ノ儘ニ殘シテ置キマ
ス部分、ソレガゴザイマス、又國家緊要産
業ニシテ容易ニ個人ガ企テルコトガ出來ナ
イモノニ付テ、之ヲ實行スルト云フ要求ガ
殘ツテ居リマス、斯様ナ點ニ付キマシテハ
政府ガ、主トシテ商工省ガ當リマス譯デア
リマスガ、計畫ヲ立テマシテ、其ノ中民間
ノ人ノ到底自分デハヤレナイ其ノ設備ハ、
政府自ラシナケレバナラヌ、運營ハ民間ニ
任セマス場合ガアリマス、サウナレバ所謂
國有民營ノニ相成リマスルガ、サウ云フモノ、
或ハ何等カ政府ノ援助ニ依リマシテ民間
ニヤラセルモノ、斯ウ云フ風ニ分レルト思
ヒマス、政府自ラヤルモノト、民間ノ投資
融資ニ依ツテヤルモノト、ソコニ二ツ分レ
ルヤウニナリマス、前者ガ産業設備營團ノ
致ス仕事デアリマス、後者ノ金融金庫ガ之
ニ資金ヲ供給スルコトトナリマス、斯ウ云
フ二ツニ仕事ガ分レマス、又未動遊休設備
ニ致シマシテ、ソレヲ未動遊休ノ儘ニ存續
セシメルト云フモノニ付キマシテ、到底業
者自ラ之ヲ存續スルコトガ不可能デ、政府
ガ買上ゲテ保管ヲシテ行ク必要ノアルモノ
ハ考慮スル、是ハ産業設備營團ガヤルノデ
アリマス、併シソレニハ及バヌ、相當ナ條
件デ融資ガ得ラレルナラバ、未動遊休ノ儘
存續スルコトガ企業者ニ於テ出來ルト云
フ場合ニハ、此ノ戰時金融金庫ガ金ヲ貸シ
マス、ソレカラ未動遊休設備ノ儘デ置カ
ンデ、何ト云ヒマス、其ノ設備ヲ「スクラッ
プ」ニシテシマフト云フヤウナ場合ニハ産業
設備營團ガ買上ゲル、先程政府自ラト云フ

コトヲ申シマシタガ、誤リデアリマシテ、
産業設備營團ニセシムル譯デアリマス、先
ヅ政府ニ代ツテト申シマスカ、正確ナ觀念
デハアリマセスガ、極ク俗ニ申上ゲマシテ、
政府ニ代ツテ或ハ買ヒ潰シ、設備ヲシテ行
クモノハ産業設備營團或ハ民間ノ人ニヤラ
シテ置イテ宜シイ、併シ普通デハ金ガ借リ
ラレナイガ、金ヲ貸シテヤレバヤレルト云
フモノハ此ノ金庫デヤル、斯ウ云フ政府ノ
方針ニ基キマシテ今ノヤウナ分レタ職能デ
働ク、斯ウ云フコトニナリマス

○田村委員 サウ致シマス、御説明デハ
ハツキ致スノデアリマスガ、其ノ運營ノ
上ニハ中々紛淆スル點ガアルト思フノデス、
ソコデ本金庫ト産業設備營團トノ運營ニ當
ツテ、圓滿ニ運營シテ行ク上ノ連絡ト云フ
點ニ付テ、何等カノ御用意ガアリマスカ
○賀屋國務大臣 今ノヤウナ再編成ノ計畫
ハ大體商工省ガ立テマシテ、ソレニ依ツ
テヤツテ行クノデアリマスカラ、區別ガ自ラ
アリマス、併シナガラ斯ウ云フ條件デ金ガ
借りラレバ、企業者ガ自ラ遊休設備ヲ保
有スル、併シソレガ出來ナケレバ何處カデ
買ツテ貰フ、是ハ産業設備營團ガ買フコト
ニナリマス、サウ云フ風ニ一ツノモノガド
ツチニナルカト云フコトニ付テ相當實際間
題ガアリマシテ、サウ云フ點ニ付キマシテ
ハ丁度御質問ノヤウナコトガアルト存ジマ
ス、隨ヒマシテ此ノ役員ナドヲ或ル部分ハ
相互兼務ニ致サウカト云フコトモ考ヘテ居
リ、ソレカラ兩方ノ連絡委員會ト云フモノ
ヲ置キマシテ、始終協議ヲ致シタイヤウ
ナコトモ考ヘテ居リマス、元ノ計畫今申
上ゲタヤウニ大體商工省ガ産業計畫トシテ
ハ立テルコトニナツテ居リマス

○田村委員 今一點最後ニ伺ヒタイノハ、
此ノ金庫ガ仕事ヲ始メマス、直チニ日本
協同證券株式會社ヲ統合スルコトニナツテ
居リマスノデ、其ノ方ノ仕事ハ直チニ始マ
ルト思フノデアリマス、先程午前中ノ政府
委員ノ御説明ニ依リマス、最近協同證券
會社ニ對シテ預金部資金ガ三千五百萬圓バ
カリ供給サレテ居ル、ソレガ此ノ大東亞戰
争ノ後ノ株式ノ値段ノ騰落ニ依リマシテ相
當利益ガ舉ツテ居ル、其ノ利益額ハ大體ニ
於テ一部ハ株主ニ配當シテ、アトハ本金庫
ニ引繼グト云フ御説明デアツタノデアリマ
スガ、其ノ利益ノ配當ハ金利率度ト云フ御
話デアリマシタガ、ドノ程度ノ金利率標準
トシテ配當セラレントスル御考ヘデア
ルカ、是ハ國家ノ「リスク」ニ於テ預金部資金
ヲ調整融資シテ居ツタノデアリマスカラ、
ソレガ利益ヲ收メタ場合ニハ國家ニ納付ス
ルノガ至當ダト思フ、隨テ本金庫ニ利益
ガアツタトスレバ之ヲ引繼グベキモノデア
ツテ、多クノ配當ヲスベキモノデハナイト
考ヘルノデアリマスガ、其ノ點ヲ御伺ヒシ
テ置キマス、更ニ本金庫ノ職員ハ公務員ト
看做サレテ、公務員トシテノ責任ヲ負ウテ
居ルノデアリマスガ、協同證券會社ノ所謂
有價證券ノ賣買業務ヲ是ガ引繼ギマス、
職員ガ自ラ株式賣買ヲスルト云フコトハ、
公務員トシテ特殊ノ規定ガナイ場合ニ於キ
マシテハ、差支ヘナイコトニナルノデアリ
マスガ、戰時金融金庫ガ出來タ場合、監理
官ヲ置イテ政府ガ監督シテ、公務員トシテ
ノ責任ヲ問フト云フコトニナツテ居リマス
ガ、此ノ職員ハ自ラ株式賣買ニ有利ナ地位
ヲ持ツノデアリマスカラ、サウ云フ風ナ考
ヘ方ノ者ハマサカ職員ニハシナイト思ヒマ

○賀屋國務大臣 今一點最後ニ伺ヒタイノハ、
此ノ金庫ガ仕事ヲ始メマス、直チニ日本
協同證券株式會社ヲ統合スルコトニナツテ
居リマスノデ、其ノ方ノ仕事ハ直チニ始マ
ルト思フノデアリマス、先程午前中ノ政府
委員ノ御説明ニ依リマス、最近協同證券
會社ニ對シテ預金部資金ガ三千五百萬圓バ
カリ供給サレテ居ル、ソレガ此ノ大東亞戰
争ノ後ノ株式ノ値段ノ騰落ニ依リマシテ相
當利益ガ舉ツテ居ル、其ノ利益額ハ大體ニ
於テ一部ハ株主ニ配當シテ、アトハ本金庫
ニ引繼グト云フ御説明デアツタノデアリマ
スガ、其ノ利益ノ配當ハ金利率度ト云フ御
話デアリマシタガ、ドノ程度ノ金利率標準
トシテ配當セラレントスル御考ヘデア
ルカ、是ハ國家ノ「リスク」ニ於テ預金部資金
ヲ調整融資シテ居ツタノデアリマスカラ、
ソレガ利益ヲ收メタ場合ニハ國家ニ納付ス
ルノガ至當ダト思フ、隨テ本金庫ニ利益
ガアツタトスレバ之ヲ引繼グベキモノデア
ツテ、多クノ配當ヲスベキモノデハナイト
考ヘルノデアリマスガ、其ノ點ヲ御伺ヒシ
テ置キマス、更ニ本金庫ノ職員ハ公務員ト
看做サレテ、公務員トシテノ責任ヲ負ウテ
居ルノデアリマスガ、協同證券會社ノ所謂
有價證券ノ賣買業務ヲ是ガ引繼ギマス、
職員ガ自ラ株式賣買ヲスルト云フコトハ、
公務員トシテ特殊ノ規定ガナイ場合ニ於キ
マシテハ、差支ヘナイコトニナルノデアリ
マスガ、戰時金融金庫ガ出來タ場合、監理
官ヲ置イテ政府ガ監督シテ、公務員トシテ
ノ責任ヲ問フト云フコトニナツテ居リマス
ガ、此ノ職員ハ自ラ株式賣買ニ有利ナ地位
ヲ持ツノデアリマスカラ、サウ云フ風ナ考
ヘ方ノ者ハマサカ職員ニハシナイト思ヒマ

○田村委員 今一點最後ニ伺ヒタイノハ、
此ノ金庫ガ仕事ヲ始メマス、直チニ日本
協同證券株式會社ヲ統合スルコトニナツテ
居リマスノデ、其ノ方ノ仕事ハ直チニ始マ
ルト思フノデアリマス、先程午前中ノ政府
委員ノ御説明ニ依リマス、最近協同證券
會社ニ對シテ預金部資金ガ三千五百萬圓バ
カリ供給サレテ居ル、ソレガ此ノ大東亞戰
争ノ後ノ株式ノ値段ノ騰落ニ依リマシテ相
當利益ガ舉ツテ居ル、其ノ利益額ハ大體ニ
於テ一部ハ株主ニ配當シテ、アトハ本金庫
ニ引繼グト云フ御説明デアツタノデアリマ
スガ、其ノ利益ノ配當ハ金利率度ト云フ御
話デアリマシタガ、ドノ程度ノ金利率標準
トシテ配當セラレントスル御考ヘデア
ルカ、是ハ國家ノ「リスク」ニ於テ預金部資金
ヲ調整融資シテ居ツタノデアリマスカラ、
ソレガ利益ヲ收メタ場合ニハ國家ニ納付ス
ルノガ至當ダト思フ、隨テ本金庫ニ利益
ガアツタトスレバ之ヲ引繼グベキモノデア
ツテ、多クノ配當ヲスベキモノデハナイト
考ヘルノデアリマスガ、其ノ點ヲ御伺ヒシ
テ置キマス、更ニ本金庫ノ職員ハ公務員ト
看做サレテ、公務員トシテノ責任ヲ負ウテ
居ルノデアリマスガ、協同證券會社ノ所謂
有價證券ノ賣買業務ヲ是ガ引繼ギマス、
職員ガ自ラ株式賣買ヲスルト云フコトハ、
公務員トシテ特殊ノ規定ガナイ場合ニ於キ
マシテハ、差支ヘナイコトニナルノデアリ
マスガ、戰時金融金庫ガ出來タ場合、監理
官ヲ置イテ政府ガ監督シテ、公務員トシテ
ノ責任ヲ問フト云フコトニナツテ居リマス
ガ、此ノ職員ハ自ラ株式賣買ニ有利ナ地位
ヲ持ツノデアリマスカラ、サウ云フ風ナ考
ヘ方ノ者ハマサカ職員ニハシナイト思ヒマ

スガ、サウ云フコトガナイヤウニ監督シ得ルカドウカ、ソレニ對スル何等カノ規定ナリ、方法ヲ御考ヘデアリマスカ、此ノ二點ヲ最後ニ承リマシテ、私ノ質問ヲ終リタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 前段ノ御質問デアリマスガ、只今協同證券會社ニハ預金部資金ハ出シテ居リマセヌ、併シナガラ協同證券會社ガ利益ヲ得マスコトハ間接ト申シマスルカ、國家ノ大キナ力ガ背景ニナツテ居ルノデアリマス、普通ノ商會社ノ擧ガマシタ利益トハ違ヒマス、隨ヒマシテ之ヲ本金庫ニ融通致シマスル場合ニ於ケル協同證券會社ノ配當ニ付キマシテハ、普通ノ營利會社ト同ジ立場ヲ見ル譯ニハ參ラヌト思ヒマス、大部分ガ本金庫ニ引繼ガレテ行クコト存ジマス、隨ヒマシテ只今何分ト云フコトヲ私ハマダ考ヘテ居リマセヌガ、左様ナ見地カラ、又株式會社ノ株主トシテ普通ニ期待シ得ル配當ト云フモノモアル譯デアリマスカラ、是等ノ點ヲ考ヘマシテ、適當ニ私共ノ考ヘモ纏メテ參リタイト思ツテ居リマス

尙ホ本金庫ノ職員ノコトニ關シマシテデアリマスガ、是ハ甚ダ恐縮デアリマスガ、政府委員ヨリ答辯ヲ致サセタイト思ヒマス

○田中(豐)政府委員 本金庫ノ職員ヲ公務員トシテ居ルガ、株ノ賣買ナドヲヤル際ニ秘密ヲ漏洩スルトカ、或ハ不正ナコトガアルト云フ場合ニハ、ドウ云フ取締ガアルカト云フ御質問デゴザイマシタガ、公務員ト看做シマシテモ、サウ云フ點ニ付キマシテハ別段ノ取締ハ起キテ參リマセヌ、隨テ嚴重ナル監督ヲ要スルコトハ勿論デアリマスガ、監督命令デ色々ノ規定ガ出來マスノデ、大藏大臣カラ本金庫ノ運營ニ關スル色々ナ

監督命令ヲ出ス際ニ、サウ云フコトニ對スル取締ノ規定ヲ置キ、サウ云フコトノナイヤウニ十分監督命令ヲ出ス積リデアリマス置キマス、私ガ前ニ申上テマシタヤウニ、本委員會ニ付託サレマシタル議案ハ、戰時金融トシテ最モ重大ノ關係ガアリマスルノデ、出來得ルダケ慎重ニ審議ヲ致シタイノデアリマス、所ガ大臣其ノ他政府委員ノ御都合ニ依ツテ、中々思フヤウニ委員會ヲ開クコトガ出來マセヌ、現ニ明日モ午前中開キタイト云フ考ヘデアリマスルケレドモ、部屋ガアカナイト云フヤウノ關係ガアリマスルノデ、自然審議ガ長引クト云フコトハ已ムヲ得マセヌ、又諸君ノ要求ニ依ツテ何時デモ大臣ノ出席ヲ求メマス、デアリマスカラ御心配ナクユツクリ御審議ヲ願ヒマス、是ダケ申上テ置キマス——世耕君

○板谷委員 此ノ際諸君ノ御諒解ヲ得テ置キマス、私ガ前ニ申上テマシタヤウニ、本委員會ニ付託サレマシタル議案ハ、戰時金融トシテ最モ重大ノ關係ガアリマスルノデ、出來得ルダケ慎重ニ審議ヲ致シタイノデアリマス、所ガ大臣其ノ他政府委員ノ御都合ニ依ツテ、中々思フヤウニ委員會ヲ開クコトガ出來マセヌ、現ニ明日モ午前中開キタイト云フ考ヘデアリマスルケレドモ、部屋ガアカナイト云フヤウノ關係ガアリマスルノデ、自然審議ガ長引クト云フコトハ已ムヲ得マセヌ、又諸君ノ要求ニ依ツテ何時デモ大臣ノ出席ヲ求メマス、デアリマスカラ御心配ナクユツクリ御審議ヲ願ヒマス、是ダケ申上テ置キマス——世耕君

○世耕委員 私ハアト少シデ日本銀行ニ關係スルコトハ終リタイト思ヒマスガ、先程ノ質問ニ續イテ御尋ネ致シタイト思ヒマス、從來我が國ノ中央銀行デアツタ日本銀行ガ、政府側財政カラ獨立ノ存在デアツタト思フノデアリマス、所ガ日本銀行ハ先程局長サング御説明ニナリマシタヤウニ、政府ト表裏一體デアルト云フコトヲ言ハレテ、其ノ點日本銀行ハ新シイ使命ト特徴ヲ有スルト云フコトハ、十分御窺ヒ出來ルノデアリマスガ、此ノ改正ニ依ツテ特長ト缺點ト云フモノガ生ジテ來ハシナイカ、其ノ點ヲドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居リマスカ、此ノ點先ヅ最初ニ御尋ネ致シタイト思フノデアリマス

○山際政府委員 御指摘ノ如ク今後ニ於ケル日本銀行ハ、政府ノ財政ヲ賄ツテ參リマ

スル爲ノ最モ必要ナル機關トシテ、十分ニ其ノ機能ヲ發揮ヲ期待シテ居ルノデアリマス、從來ノ日本銀行制度ニ於ケル日本銀行ハ、是亦御話ノ如ク何ト申シマスルカ、極ク平タイ意味ニ於テ成ベク政治カラハ遠ザカル、政治ノ圈ニ捲込マレナイト云フ建前デアツタノデアリマス、併シナガラ御承知ノ如ク今後ニ於ケル我が國ノ經濟ノ行キ方ト云フモノハ、總テ政府ノ政策ヲ中心トシテ、其ノ政策ノ下ニ經濟ガ統制サレテ行クノデアリマシテ、今後ノ金融ノ中心機關デア

ル所ノ日本銀行ハ、勢ヒ此ノ政府ノ政策ト最モ緊密ナル關係ニ立タナクテハ、實際ノ經濟ノ要求ニ應ジタ所ノ金融操作ガ行ハレナイト云フ状態ニ相成ツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ其ノ趣旨ニ於テ、本法案ハ日本銀行ヲシテ政府ノ政策ニ緊密ニ合致シ得ルヤウナ仕組ヲ執ツタ次第デゴザイマス、然ラバ政府ノ財政ヲ政府ト一體トナツテ賄ツテ行クト云フコトガ、何カ無制限ニ公債ヲ發行シ、或ハ通貨ヲ増發スル結果トナツテ、所謂惡性インフレーションヲ惹起スル因トナリハセンカト云フ懸念ガ起リ得ルカト思フノデアリマス、此ノ點ニ關シマシテハ私共考ヘテ居リマスル所ハ、今日ノ統制セラレタル經濟ノ持ツテ行キ方ノ中ニ於キマシテハ、政府ト雖モ無制限ニ其ノ公債ヲ發行シ

計畫ニ從ヒマシテ蓄積セラレマシタ資金ヲドレダケ公債ニ廻ハスカ、ドレダケヲ事業資金ニ廻ハスカト云フコトガ計畫的ニ定マルノデアリマス、隨ヒマシテ日本銀行ガ公債ヲ引受ケルカ否カト云フコトガ、此ノ惡性「インフレーション」云々ト云フ問題デハナクシテ、其ノ計畫ガ妥當デアルカドウカ、計畫通りニ資金ノ蓄積ガ行ハレルカドウカト云フヤウナ點ニ問題ノ核心ガ移ツテ居ルト考ヘルノデアリマス、隨ヒマシテ斯カル制度ヲ新日本銀行ニ於テ執リマスコト自體ニ付キマシテ、將來餘リニ便利ナラシメル結果、却ツテ貨幣價值ノ健全性ヲ害シハシナイカト云ツタヤウナ懸念ハ、此ノ經濟全體ノ持ツテ行キ方ガ左様ナ仕組デアルト云フ所カラ考ヘマスレバ、先ヅ其ノ懸念ナキモノト考ヘテ宜イノデハナイカ、斯様ニ了解致シテ居ルノデアリマス

○世耕委員 先程來ノ御説明ニ依ツテ日本銀行ノ使命ノ大要ガ分ツタノデアリマスガ、元ノ日本銀行ハ純然タル銀行ト云フ建前カラ出發シテ居ツタノガ、今度ノ新日本銀行ハ多分ニ政治性ガ加味サレテ居ルト云フコトハ御説明ニ依ツテモ明カニナツタト思フノデアリマス、殊ニ銀行トシテノ從來ノ建前ヲ離レテ、從來銀行取締法規其ノ他ノ關係カラ見マシテ禁止サレテ居ツタヤウナ工業金融、或ハ公開市場ニ進出スル、或ハ其ノ他ノ部面ニ新シイ職域ヲ擴ゲテ行ツタト云フ所ニ幾分危險性ガアルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス、ソコデ先程局長サンモ御話ガアリマシタガ、「インフレーション」問題デアリマスガ、新日本銀行トシテ「インフレーション」防止ノ最後ノ堡壘ヲ何處ニ置イテ居ルカト云フコトガ問題

〔委員長退席、長井委員長代理着席〕

若シクハ無制限ニ其ノ公債ヲ日本銀行ヲシテ引受ケシメルコトハ出來ナイト云フ考ヘ方デアリマス、即チ全體ノ金融經濟ヲ通ズル計畫ハ、官ト云ハズ、民ト云ハズ、財政ト云ハズ、産業ト云ハズ、總テ綜合的ニ包括セラレマシテ一定ノ綜合的計畫ガ立ツノデアリマス、資金ノ面ニ於キマシテモ、資金統制

スル爲ノ最モ必要ナル機關トシテ、十分ニ其ノ機能ヲ發揮ヲ期待シテ居ルノデアリマス、從來ノ日本銀行制度ニ於ケル日本銀行ハ、是亦御話ノ如ク何ト申シマスルカ、極ク平タイ意味ニ於テ成ベク政治カラハ遠ザカル、政治ノ圈ニ捲込マレナイト云フ建前デアツタノデアリマス、併シナガラ御承知ノ如ク今後ニ於ケル我が國ノ經濟ノ行キ方ト云フモノハ、總テ政府ノ政策ヲ中心トシテ、其ノ政策ノ下ニ經濟ガ統制サレテ行クノデアリマシテ、今後ノ金融ノ中心機關デア

ニナツテ來ルノデアリマス、凡ソ金融ノ動
キト云フモノハ生キ物ト同様デアリマス、
色々ナ條件、場合ガ想像サレルノデアリマ
ス、サウ云フ場合ニ常ニ萬全ヲ期スルト云
フコトガ、特ニ今度ノ此ノ日本銀行ノ如キ
使命ノ極メテ甚大ナ地歩ヲ占メテ居ル特殊
銀行ニ於テ考慮ヲ運ラスト云フコトガ當然
デナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマス、世界
各國幾多ノ事例ヲ頭ノ中ニ描キツツ御尋ネ
スルノデアリマスガ、事例ハ此ノ際申上ダ
マセヌ、サウ云フ場合ノ「インフレ」防止ノ
最後ノ堡壘ヲ何處ニ目安ヲ置イテ居ルカ、
何處ヲシテ根據ニシテ居ルカ、此ノ點ヲ伺
ヒタイト思フノデアリマス

〔長井委員長代理退席、委員長着席〕

○山際政府委員 新日本銀行法ニ於キマシ
テ「インフレ」ヲ防止スル爲ノ如何ナル措置
ガ採用セラレテ居ルカト云フ御尋ネデアリ
マスガ、段々申上ダゲマスガ如ク、今日ノ事
態ニ於キマシテ「インフレ」ヲ防止
スルト云フコトハ、單リ日本銀行ノ機能ニ
ノミ其ノ力ヲ求メタルコトハ困難デアリマシ
テ、寧ロ其ノ日本銀行ノ機能モ勿論ノコト
ナガラ、全金融界ト云ハズ、全産業界乃至
總テノ國民生活上ニマデ互リマシテ、資
金ノ蓄積ニ努力ヲスル、貯蓄ノ獎勵ニ努メ
ルト云ツタヤウナ各方面ノ經濟政策ガ綜合
セラレマシテ、茲ニ完全ナル「インフレ」
「イン」防止ノ態勢ガ整ツテ參ルト思フノ
デアリマス、勿論日本銀行法ノ規定自體ノ
中ニ於キマシテモ、出來ル限リノ配慮ハ日
本銀行トシテ致スベキデアリマス、日本銀
行ノ目的ヲ以テ第一條ニ、日本銀行ハ國家
ノ政策ニ即シ通貨ノ調節ニ當ルト云フコト
ヲ掲ゲデアリマスル意味モ、適度ノ通貨量

ヲ放出スルコトニ努メマシテ、其ノ結果通
貨ノ價值、貨幣ノ價值ヲ安全ナル狀態ニ保
持スルト云フコトヲ以テ日本銀行總テノ操
作ノ中心トスルヤウニト云フコトニ於テ其
ノ目的ヲ掲ゲタ次第ナデアリマス、併シ
ナガラ段々申上ダゲマスヤウニ、是ハ單リ日
本銀行ダケノ力デハイカヌノデアリマシテ、
金融機關ノ協力ヲ求メルト云フコトモ、日
本銀行自體ノ機能ノ上カラ言ツテモ必要ナ
最少限度デアリマス、ソコデ先程申上ダゲ
シタヤウニ、日本銀行ガ其ノ目的達成上、
例ヘバ只今申上ダゲマシタ通貨價值ノ健全ナ
ル保持ヲ圖ルト云フ目的ヲ達成スル上ニ必
要ガデアリマス場合ニハ、其ノ取引ノ相手方
トナル銀行其ノ他ノ金融機關ニ對シテ、日
本銀行ノ業務ニ協力セヨト言フコトモ出來
ルト云フヤウナ規定ヲ設ケテ、以テ日本銀
行ノ機能ノ達成出來マスルヤウナ補助的ナ
制度ヲ設ケタデアリマス、平たく申シマ
スレバ、例ヘバ日本銀行ガ國債ヲ賣リタ
イ、其銀行ハ國債ヲ買フダケノ資力ガアル
ト認メラレルニ拘ラズ、尙ホ相手方ノ協力
ヲ得ラレマセヌヤウナ場合ニハ、本第二十
八條ノ條項ニ依ツテ日本銀行ノ其ノ通貨量
ノ調節業務ニ協力サセルト云ツタヤウナ制
度ヲ考ヘマシタ、御尋ネノ點ハ洵ニ重要ナ
點デアリマスガ、是等色々ノ規定ヲ綜合致
シマシテ、其ノ運用ノ實際ニ於テ御話ノ如
キ弊害ノ起リマセヌヤウニ、十分氣ヲ附ケ
テヤツテ行キタイト云ツタヤウナ心構ヘデ
居ル次第デゴザイマス

○世耕委員 簡單デゴザイマスガ、尙ホ結
論的ナ御尋ネヲ致シタイノデアリマス、只
今ノ御話大體氣持ハ了承致シマシタガ、私
ガ最初ニ御尋ネシタヤウニ、ナゼ二本建ニ
シナカッタノカ、結局現在ノ日本銀行ト云
フモノヲ生カシテ置イテ、更ニ新シキ組織
ヲ持ツベキデハナカッタカト云フコトガ、
今御話ニナツタノト稍、結論ニ近イ問題ニ觸
レテ來ル譯デアリマスガ、是ハ議論ニナリ
マスカラ、私ハ此ノ際追究シテ御尋ネ致シ
タクナイノデアリマス、要ハ通貨ノ膨脹ハ
信用ノ膨脹ヲ來ス、併シソレハ一般ノ民間
ニ流用サレル理論デ、通貨ノ膨脹ハ國家ノ
信用ノ膨脹ニハ直チニナラヌ場合ガアルト
思フノデアリマス、サウ云フ風ナ政府ノ信
用ハ結局國策遂行ニ關スル政綱カラ發表シ
ナケレバナラヌノデハナイカ、是ガ只今局
長サンガ御話ニナツタ點ニ觸レテ來ルノダ
ラウト思フノデアリマス、其ノ點ヲ御考ヘ
ニナツテ御答辯ニナツタノダラウト思ヒマ
スガ、此ノ點モ重ネテ御尋ネスルコトヲ避
ケテ置キマス、以上デ大體私ノ質問シタイ
點ハ終ツタノデアリマスガ、最後ニ一點、
此ノ第五條ノ日本銀行ノ資本金一億圓トシ
テ、政府出資ガ五千萬圓ニナツテ居リ
マスガ、後ノ四千万圓ノ出資ト云フモ
ノハドウ云フ風ニ按配セラレルトカト云
フコトヲ御尋ネシテ置キタイノト、ソレカ
ラ委員長ニ御願ヒシタイデスガ、先程爲替
局長ガ途中デ歸ラレタノデスガ、適當ナ機
會ニ發言ヲ御許シ願ヒタイト思ヒマス

○山際政府委員 日本銀行ノ資本金一億圓
ノ中四千五百萬圓ニ相當致シマス部分ハ、
本法案ノ附則ニモ掲ゲデアリマスル通り、
現在ノ株式拂込金額四千五百萬圓ヲソツク
リ其ノ儘出資ニ振替ヘル積リデゴザイマス、
隨ヒマシテ足ラザル所ノ五千五百萬圓ヲ新
シク政府ニ於テ其ノ出資ヲ引受ケル、斯様
ナコトニ致シテゴザイマス

○板谷委員長 宜シウゴザイマスカ——尙
ホ此ノ際改メテ一言申上ダゲテ置キマス、先
ニ御話致シマシタ通り、漸ク本日質問ニ入
ツタバカリデアリマスルカラ、質問者ノ時
間ハ別ニ制限ヲ致シマセヌ、唯諸君ニ御願
ヒシテ置クコトハ、成ベク質問ハ簡潔、明
瞭ニ重複ニナラザルヤウニ、質問ノ御希望
ノ方ハ議席ヲ保ツテ置イテ戴キタイ、隨テ
今後大臣ノ御要求其ノ他ニ付キマシテモ、
出來ルダケ諸君ノ御期待ニ副フヤウニ委員
長トシテハ圖リタイト考ヘテ居ル次第デア
リマス、明日午前中ニ實ハ開會シタイト云
フ考ヘデ色々交渉致シマシタケレドモ、此
ノ部屋ハ請願委員會デ使ハナケレバナラヌ
ト云フノデ、外ニ部屋ノ都合ガ出來マセヌ、
已ムヲ得ズ明日午後二時カラ第十一ノ決算
委員會開會スルコトニ致シマス、本日ハ
是ニテ散會致シマス

午後五時四分散會

第六類第四號 日本銀行法案外二件委員會會議錄 第三回 昭和十七年一月二十六日 二二七

昭和十七年一月二十七日印刷

昭和十七年一月二十八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局